

## 石油ふろがまや屋内式ガスふろがま等の長期使用による火災にご注意を ～「長期使用製品安全点検制度」による登録・点検をしましょう～

NITE（ナイト）に通知された製品事故情報<sup>※1</sup>では、石油ふろがまや屋内式ガスふろがま等の特定保守製品の事故<sup>※2</sup>が平成 23 年度から平成 27 年度までの 5 年間に 834 件<sup>※3</sup>ありました。このうち使用期間が判明したものは 767 件で、その 65%（499 件）が、10 年以上使用した製品で起こっています。また、事故の被害状況は、死亡 5 件、軽傷 21 件等で、499 件のうち 294 件（59%）は、火災を伴う事故となっています。

### ■ 特定保守製品9品目 一覧<sup>※4</sup>

石油ふろがま、石油給湯機、密閉燃焼式石油温風暖房機（以下、FF式石油温風暖房機と呼ぶ。）、屋内式ガスふろがま（都市ガス、LPガス）<sup>※5</sup>、屋内式ガス瞬間湯沸器（都市ガス、LPガス）<sup>※5</sup>、ビルトイン式電気食器洗機、浴室用電気乾燥機

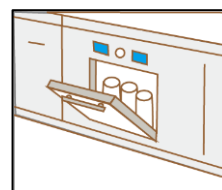
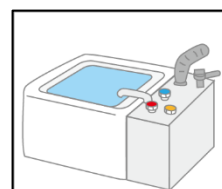
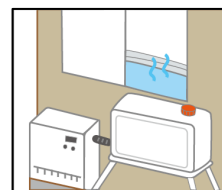
「長期使用製品安全点検制度」は、所有者による保守点検が困難で、経年劣化による事故が発生するおそれの高い特定保守製品 9 品目について、製造・輸入事業者へ所有者情報の登録を行い、必要な時期に有償点検を受ける制度です。平成 28 年 3 月の登録率は約 38% であり、より一層の登録率向上のための周知を図ります。

事故の未然防止のため、一般家庭の方だけでなく、マンション・アパートを管理されている方々も、特定保守製品を購入した際は、所有者情報の登録を行いましょう。加えて、制度開始以前<sup>※6</sup>に製造・輸入された製品をお持ちの場合も、点検を受けましょう。

長期使用による主な事故事例を紹介します。点検を行うことで、事故を未然に防止することができます。

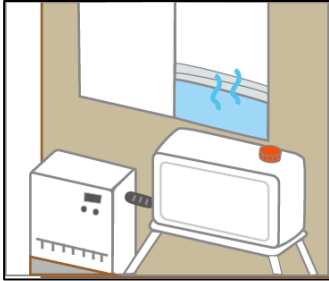
### 主な事故事例

- 石油給湯機付きふろがまの長期使用（使用期間約 31 年）により、灯油配管接続部のねじが緩み、機器内部に灯油が漏れ、ふろがまバーナーの逆火により、漏れた灯油に引火し、建物を全焼する火災が発生した。  
（平成 26 年 11 月 青森県 拡大被害）
- 屋内式ガスふろがまを長期間使用（使用期間約 25 年）していたことで、パッキンが劣化し水が浸入して、ガス連絡管を腐食させて、ガス連絡管に穴が開いたため、漏れたガスに引火したと考えられる。  
（平成 27 年 2 月 福島県 拡大被害）
- ビルトイン式電気食器洗機のドアを繰り返し開閉した（使用期間約 20 年）ことで、ドア下部の内部配線に半断線が生じ、ショートして火災が発生した。  
（平成 27 年 7 月 大阪府 拡大被害）



11月は経済産業省の「製品安全総点検月間」です。家庭にある製品の安全点検を強化する月間に合わせ、製品事故を未然に防止するため、特定保守製品の登録・点検を確実にいきましょう。

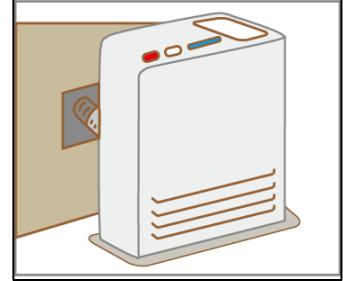
- (※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。
- (※2) 長期使用製品安全点検制度の施行以前に製造・輸入された特定保守製品の事故も含む。
- (※3) 平成28年9月30日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。
- (※4) 特定保守製品 全9品目のイメージ図を以下に示す。（「長期使用製品安全点検制度 周知用パンフレット2009年版」（経済産業省作製、[http://www.meti.go.jp/product\\_safety/producer/shouan/09\\_shouan\\_panfu.pdf](http://www.meti.go.jp/product_safety/producer/shouan/09_shouan_panfu.pdf)）を元に作成）



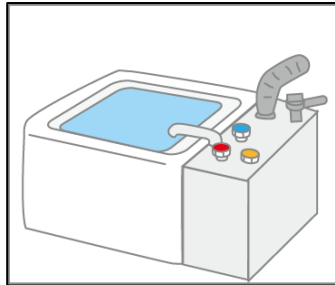
石油ふろがま



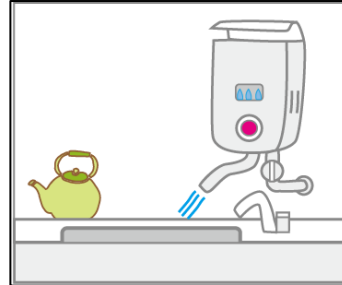
石油給湯機



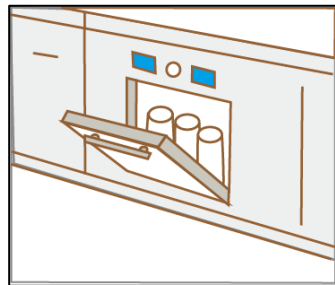
FF式石油温風暖房機



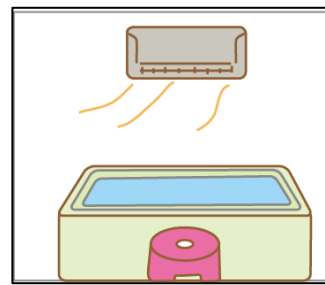
屋内式ガスふろがま  
(都市ガス用/LPガス用)



屋内式ガス瞬間湯沸器  
(都市ガス用/LPガス用)



ビルトイン式電気食器洗機



浴室用電気乾燥機

(図) 特定保守製品の対象品目

- (※5) 屋内式ガスふろがま（都市ガス、LPガス）と屋内式ガス瞬間湯沸器（都市ガス、LPガス）は、本文中ではガス種をまとめて、それぞれ「屋内式ガスふろがま」、「屋内式ガス瞬間湯沸器」と記載する。
- (※6) 「長期使用製品安全点検制度」は平成21年4月に施行。

## 1. 事故の発生状況

特定保守製品の事故は、平成23年度～平成27年度までの5年間に合計834件あり、このうち、使用期間が判明したものは767件ありました。その中で10年以上<sup>※7</sup>使用した製品の事故は、767件中499件（65%）でした。

### (1) 10年以上使用した特定保守製品における 年度別 事故発生件数

図1-1に「年度別 特定保守製品の事故発生件数」、及び図1-2～4に各製品群毎の「年度別 事故発生件数」の推移を示します。

10年以上使用した特定保守製品の事故は減少傾向にあります。火災事故は毎年、全体の6割弱あり、平成27年度では74件中41件（55%）が火災となっています。

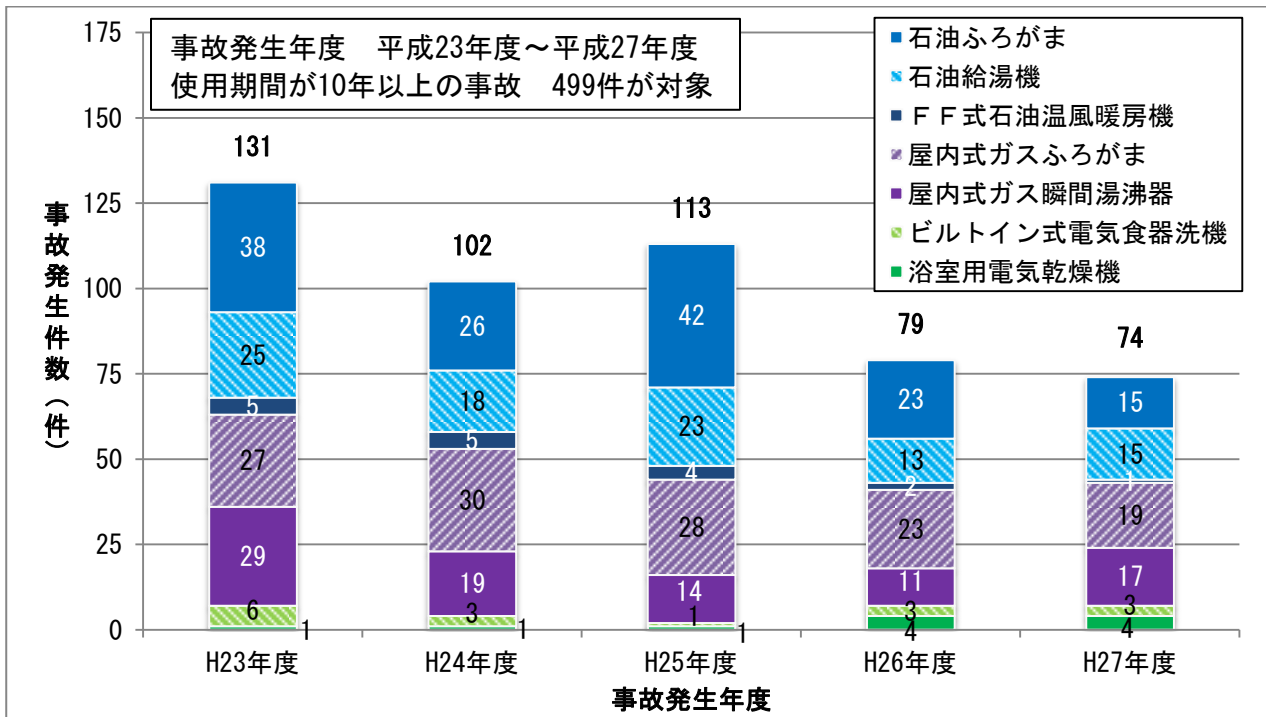


図1-1 年度別 特定保守製品の事故発生件数

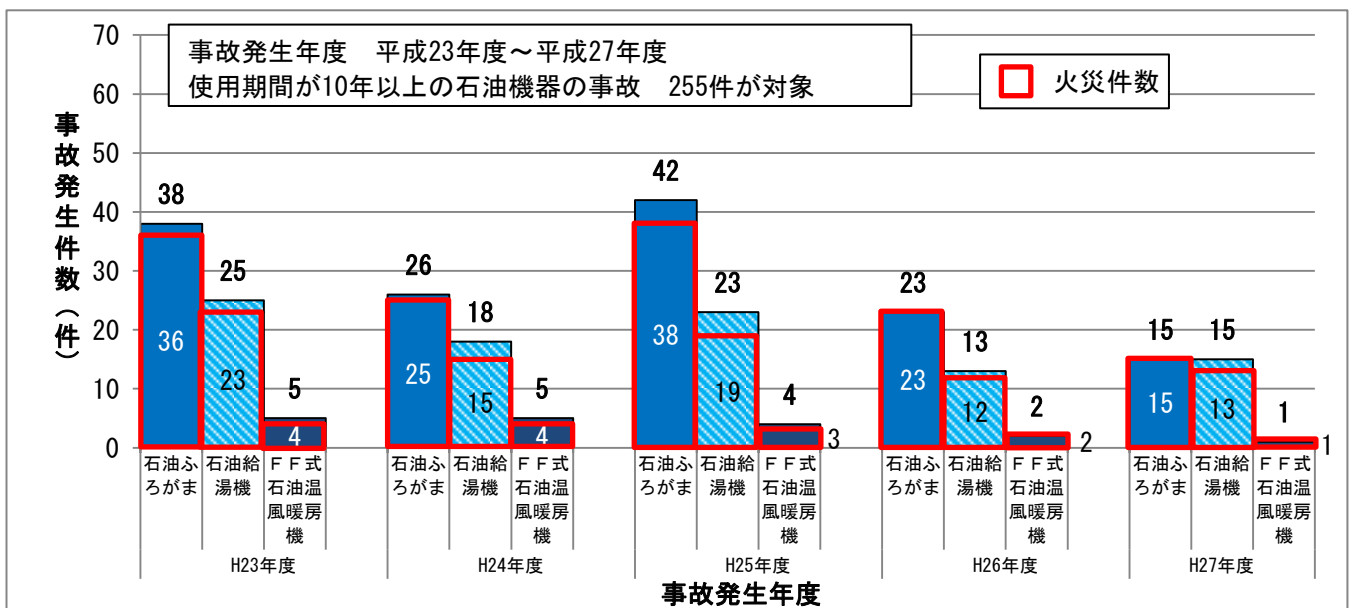


図1-2 年度別 石油機器（石油ふろがま、石油給湯機、FF式石油温風暖房機）の事故発生件数

(※7) 製品の型式毎に標準設計使用期間が定められている。本資料では、便宜上10年以上で集計している。

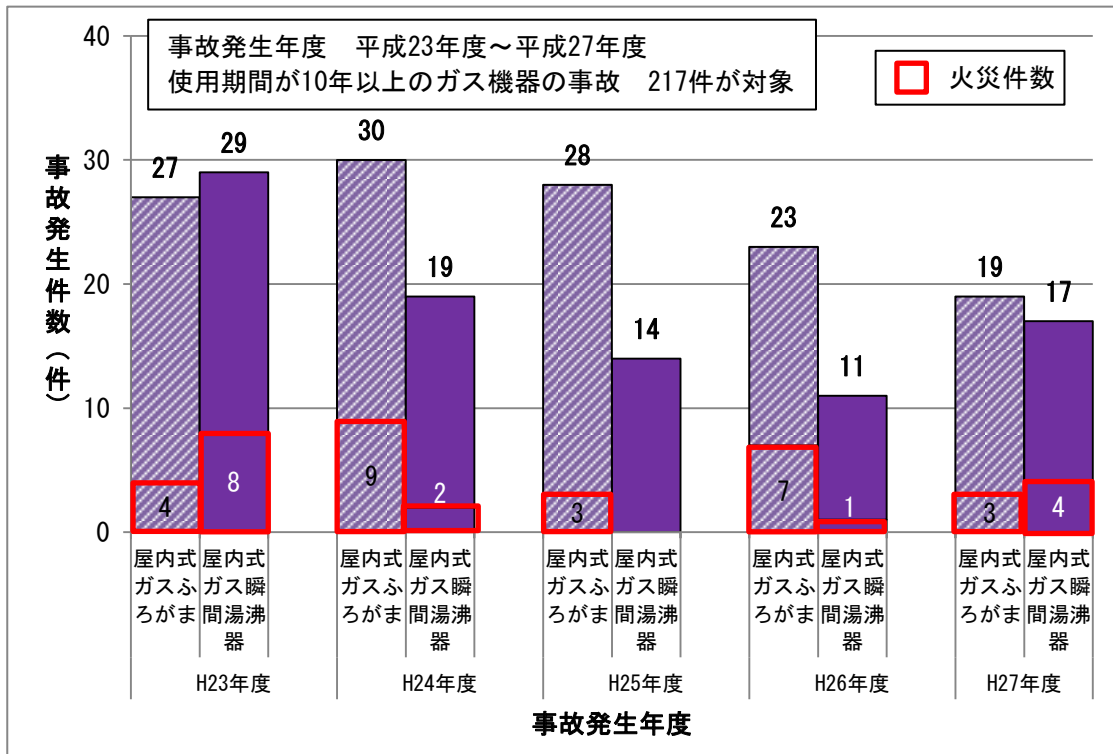


図 1-3 年度別 ガス機器（屋内式ガス瞬間湯沸器、屋内式ガスふろがま）の事故発生件数

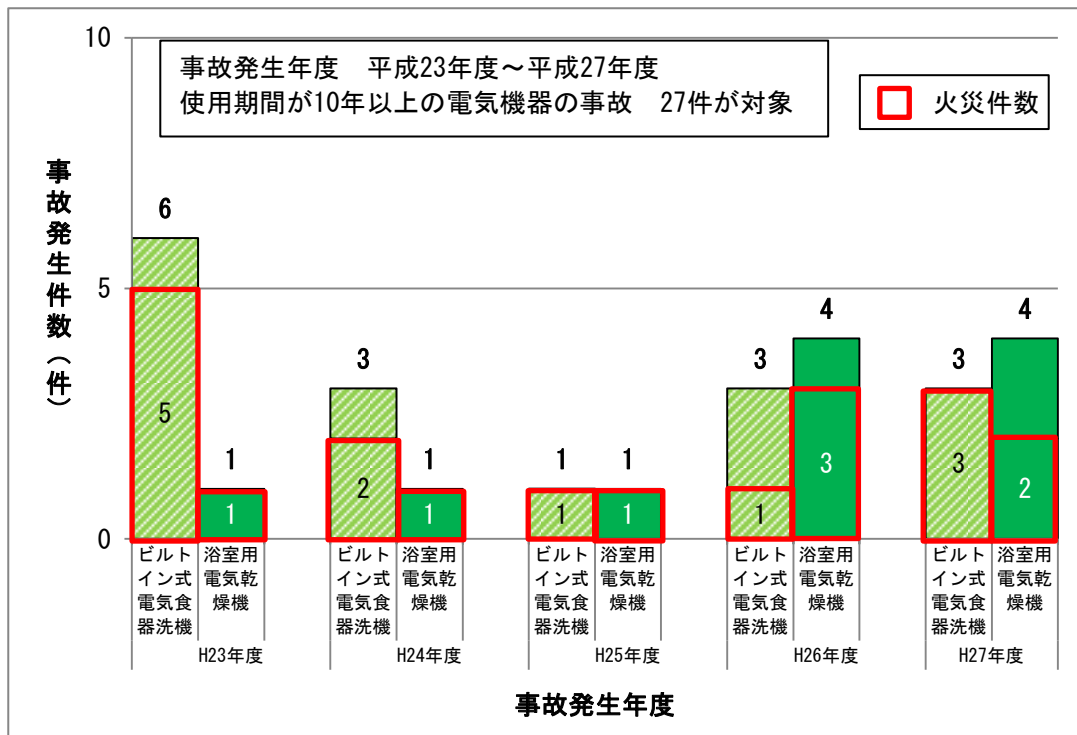


図 1-4 年度別 電気機器（ビルトイン式電気食器洗機、浴室用電気乾燥機）の事故発生件数

## (2) 10年以上使用した特定保守製品における被害状況別 事故発生件数

表1に「特定保守製品別 被害状況別 事故発生件数」を示します。

製品別に見ると、石油ふろがまによる事故が最も多く144件(29%)あります。

石油機器(石油ふろがま、石油給湯機、FF式石油温風暖房機)や電気機器(ビルトイン式電気食器洗機、浴室用電気乾燥機)では、火災事故が多く発生しています。(石油機器は255件中233件(91%)、電気機器は27件中20件(74%))

一方、ガス機器では他に比べて火災件数は少ないものの、被害者25名のうち15名が一酸化炭素中毒となっています。(死亡3名、軽傷12名)

表1 特定保守製品別 被害状況別 事故発生件数<sup>※8</sup>

製品の種類		被害状況	人的被害			物的被害		被害なし	合計
			死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
石油機器	石油ふろがま		1		4	88	51		144
			(1)		(4)				(5)
					[4]	[83]	[50]		[137]
	石油給湯機				1	41	51	1	94
				(1)				(1)	
				[1]	[38]	[43]		[82]	
FF式石油温風暖房機			1		1	12	3		17
			(2)		(1)				(3)
			[1]			[12]	[1]		[14]
小計	事故件数		2	0	6	141	105	1	255
	被害者数		(3)	(0)	(6)	(0)	(0)	(0)	(9)
	火災件数		[1]	[0]	[5]	[133]	[94]	[0]	[233]
ガス機器	屋内式ガスふろがま (都市ガス、LPガス)		1		6	17	101	2	127
			(1)		(6)				(7)
						[13]	[13]		[26]
	屋内式ガス瞬間湯沸器 (都市ガス、LPガス)		2		8	12	66	2	90
		(2)		(16)				(18)	
				[2]	[5]	[7]	[1]	[15]	
小計	事故件数		3	0	14	29	167	4	217
	被害者数		(3)	(0)	(22)	(0)	(0)	(0)	(25)
	火災件数		[0]	[0]	[2]	[18]	[20]	[1]	[41]
電気機器	ビルトイン式電気食器洗機				1	6	9		16
					(1)				(1)
						[1]	[6]	[5]	
	浴室用電気乾燥機					5	6		11
								(0)	
					[4]	[4]		[8]	
小計	事故件数		0	0	1	11	15	0	27
	被害者数		(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(1)
	火災件数		[0]	[0]	[1]	[10]	[9]	[0]	[20]
合計	事故件数		5	0	21	181	287	5	499
	被害者数		(6)	(0)	(29)	(0)	(0)	(0)	(35)
	火災件数		[1]	[0]	[8]	[161]	[123]	[1]	[294]

(※8) 平成28年9月30日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。( )は被害者数。[ ]は火災件数。

人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害(製品破損)に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

### (3) 特定保守製品の使用期間別 事故発生件数

使用期間が判明した事故 767 件のうち、10 年以上使用した製品の事故 499 件（65%）について、図 2-1 に「製品の使用期間別 事故発生件数」、図 2-2 に「製品の使用期間別 「製品に起因する事故」の発生件数」を示します。「製品に起因する事故」において、使用期間が12年から18年未満の製品で事故が多くあり、使用期間が長くなると、製品に不具合が生じて事故に至るおそれがあることを示しています。

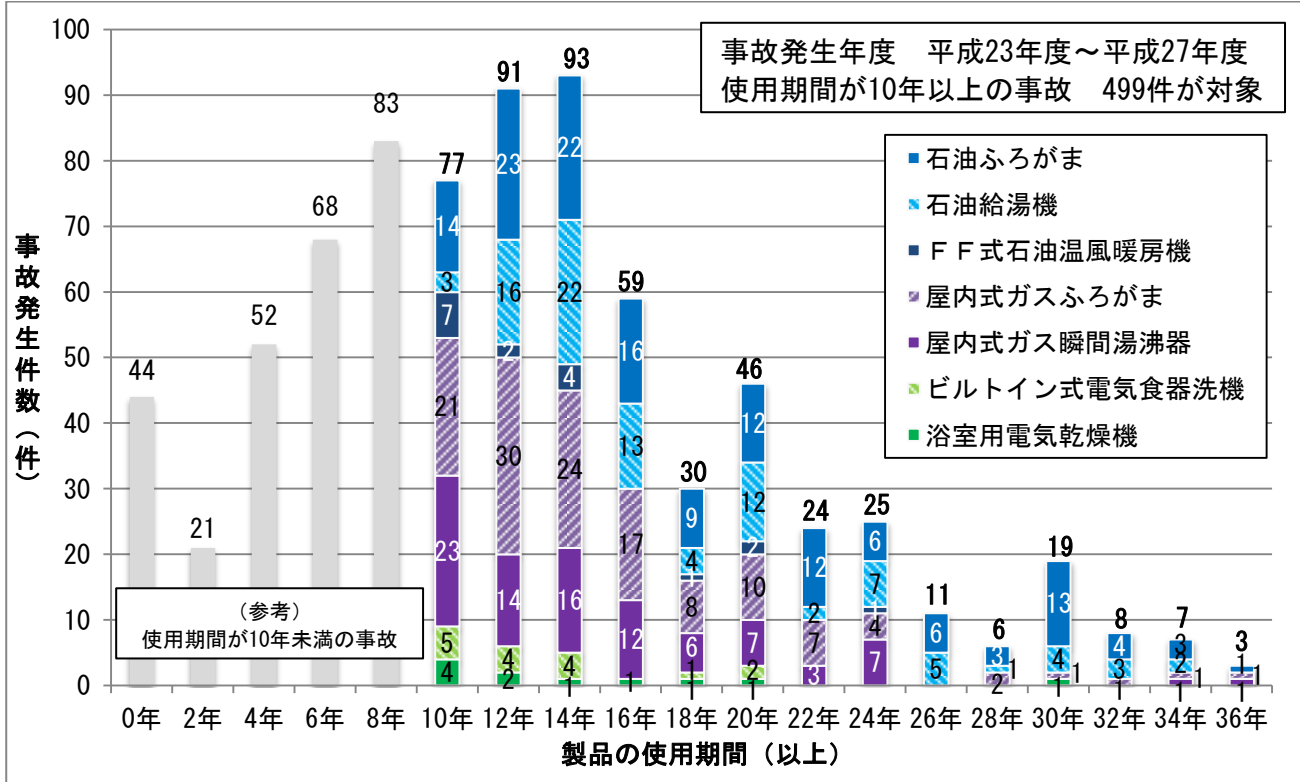


図 2-1 製品の使用期間別 事故発生件数

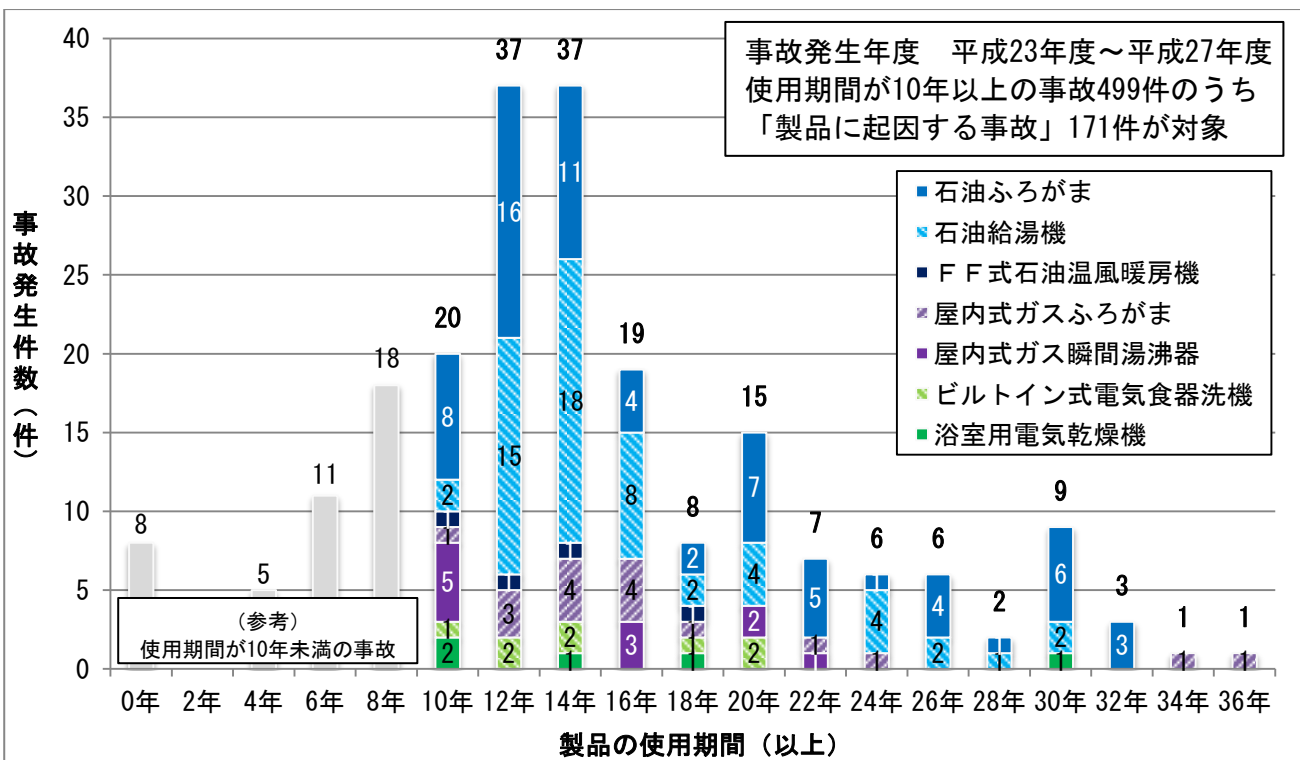


図 2-2 製品の使用期間別 「製品に起因する事故」の発生件数



(4) 製品別 原因区分別の事故発生件数、及び現象別の被害状況

① 石油ふろがま、石油給湯機、FF式石油温風暖房機による事故

使用期間が10年以上の石油ふろがま、石油給湯機、FF式石油温風暖房機の事故255件について、図3-1に「事故原因区分別 石油ふろがま、石油給湯機、FF式石油温風暖房機の事故発生件数」、表2-1に「石油ふろがま、石油給湯機、FF式石油温風暖房機の現象別 被害状況」を示します。

事故原因区分（別紙2参照）に基づいて分類すると、

- 製品に起因する事故（事故原因区分A、C、G3） 130件（51%）
- 製品に起因しない事故（事故原因区分D、E、F） 60件（24%）
- 原因不明のもの（事故原因区分G3を除くG） 47件（18%）
- 調査中のもの（事故原因区分H） 18件（7%）

となっています。（事故原因区分Bの事故はありませんでした。）

石油ふろがまや石油給湯機、FF式石油温風暖房機の事故では、「C:経年劣化によるもの」と判断された事故が29件あります。その中には「長期使用により、部品の劣化や腐食などで異常燃焼や噴霧不良が生じ、たまった未燃灯油に引火」したものと「長期使用により、部品（リング等）の劣化や腐食により隙間や穴が開き漏れた灯油に引火」したものが合計20件あり、そのうちの19件が火災を伴っています。また、「A:設計・製造又は表示等に問題があったもの」（60件）や「G3:製品起因であるが、その原因が不明のもの」（41件）のうち、53件がリコール対象製品の事故となっています。

また「製品に起因しない事故」では、「故障状態・エラー表示が出たまま使用を継続して異常燃焼」したものが12件発生しています。この中には、長期使用により部品等が劣化し、故障したまま、またエラー表示が出たまま使用を続けて事故に至ったものも含まれています。

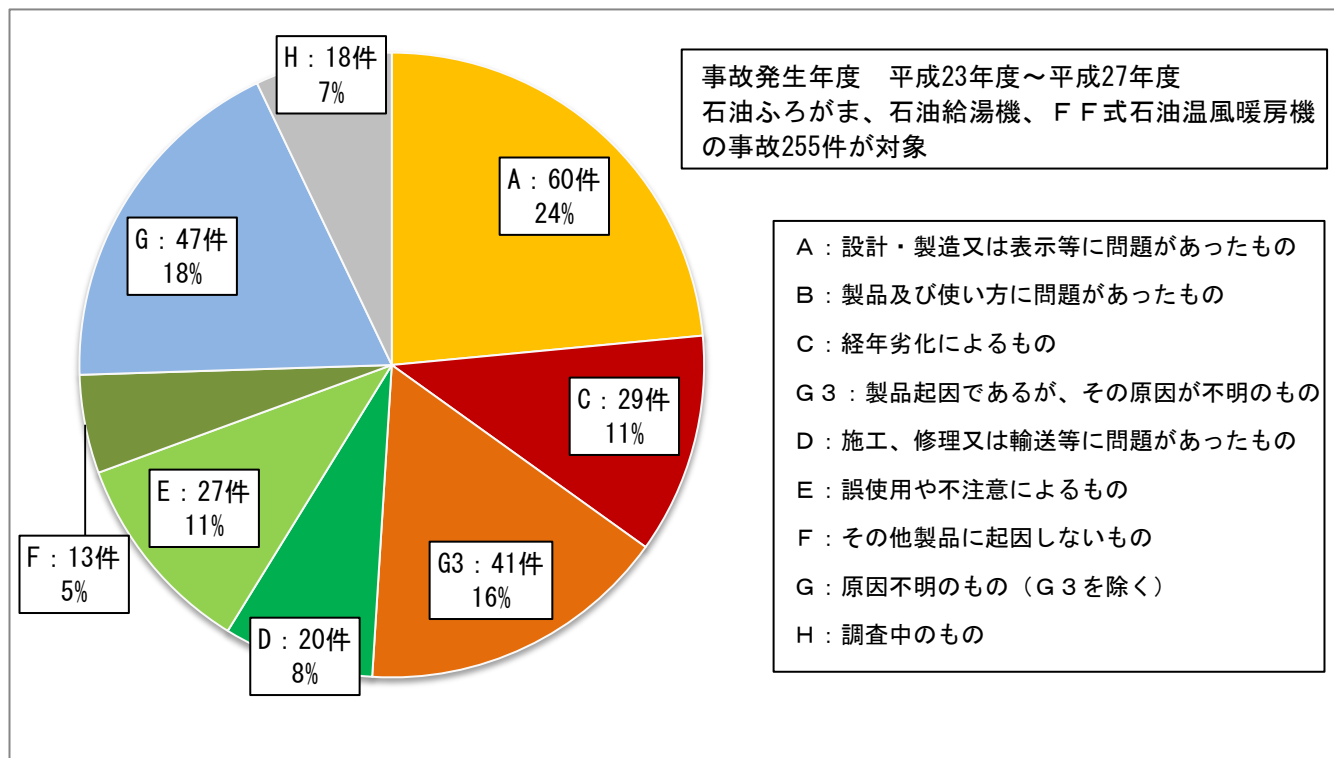


図3-1 原因区分別 事故発生件数

表 2-1 石油ふろがま、石油給湯機、FF式石油温風暖房機の現象別 被害状況<sup>※8</sup>

現象	被害状況		人的被害			物的被害		被害なし	合計
			死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
製品に起因する事故	長期使用により、部品の劣化や腐食などで異常燃焼や噴霧不良が生じ、たまった未燃灯油に引火					11 [ 10 ]	3 [ 3 ]		14 ( 0 ) [ 13 ]
	長期使用により、部品（Oリング等）の劣化や腐食により隙間や穴が開き漏れた灯油に引火					4 [ 4 ]	2 [ 2 ]		6 ( 0 ) [ 6 ]
	長期使用により、部品（送風機等）の故障や劣化、ススやホコリの付着等によって空気不足となり異常燃焼					1 [ 1 ]	4 [ 3 ]		5 ( 0 ) [ 4 ]
	長期使用により、部品の劣化や腐食などによって炎や高温の燃焼性のガスが漏れ、周囲の可燃物に着火					3 [ 3 ]	1 [ 1 ]		4 ( 0 ) [ 4 ]
	A: 設計、製造又は表示に問題があったもの					23 [ 19 ]	37 [ 33 ]		60 ( 0 ) [ 52 ]
	G3: 製品起因であるが、その原因が不明のもの					18 [ 16 ]	23 [ 22 ]		41 ( 0 ) [ 38 ]
	小計	事故件数 被害者数 火災件数	0 ( 0 ) [ 0 ]	0 ( 0 ) [ 0 ]	0 ( 0 ) [ 0 ]	60 ( 0 ) [ 53 ]	70 ( 0 ) [ 64 ]	0 ( 0 ) [ 0 ]	130 ( 0 ) [ 117 ]
製品に起因しない事故	故障状態・エラー表示が出たまま使用を継続して異常燃焼				1 ( 1 ) [ 1 ]	11 [ 11 ]			12 ( 1 ) [ 12 ]
	空焚き防止装置のない、又は故障した製品を使用して、ふろがまが空焚き状態となり、過熱して異常着火				1 ( 1 ) [ 1 ]	6 [ 6 ]	4 [ 4 ]		11 ( 1 ) [ 11 ]
	その他（設置場所の不備や取り付け時の不備など）		1 ( 1 )		2 ( 2 ) [ 1 ]	29 [ 29 ]	5 [ 5 ]		37 ( 3 ) [ 35 ]
	小計	事故件数 被害者数 火災件数	1 ( 1 ) [ 0 ]	0 ( 0 ) [ 0 ]	4 ( 4 ) [ 3 ]	46 ( 0 ) [ 46 ]	9 ( 0 ) [ 9 ]	0 ( 0 ) [ 0 ]	60 ( 5 ) [ 58 ]
G: 原因不明のもの（G3を除く）		1 ( 2 ) [ 1 ]		1 ( 1 ) [ 1 ]	29 [ 28 ]	15 [ 11 ]		47 ( 3 ) [ 41 ]	
H: 調査中のもの				1 ( 1 ) [ 1 ]	6 [ 6 ]	11 [ 10 ]		18 ( 1 ) [ 17 ]	
合計	事故件数 被害者数 火災件数	2 ( 3 ) [ 1 ]	0 ( 0 ) [ 0 ]	6 ( 6 ) [ 5 ]	141 ( 0 ) [ 133 ]	105 ( 0 ) [ 94 ]	1 ( 0 ) [ 0 ]	255 ( 9 ) [ 233 ]	

(※8) 平成 28 年 9 月 30 日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。( ) は被害者数。[ ] は火災件数。

人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。



## ② 屋内式ガスふろがま、屋内式ガス瞬間湯沸器による事故

使用期間が10年以上の屋内式ガスふろがま、屋内式ガス瞬間湯沸器の事故217件について、図3-2に「事故原因区分別 屋内式ガスふろがま、屋内式ガス瞬間湯沸器の事故件数」、表2-2に「屋内式ガスふろがま、屋内式ガス瞬間湯沸器の現象別 被害状況」を示します。

事故原因区分（別紙2参照）に基づいて分類すると、

- 製品に起因する事故（事故原因区分 A、C、G3） 28件（13%）
- 製品に起因しない事故（事故原因区分 D、E、F） 109件（50%）
- 原因不明のもの（事故原因区分 G3を除く G） 66件（30%）
- 調査中のもの（事故原因区分 H） 14件（7%）

となっています。（事故原因区分 B の事故はありませんでした。）

屋内式ガスふろがま、屋内式ガス瞬間湯沸器の事故では、「製品に起因する事故」28件のうち「C:経年劣化によるもの」が16件（57%）あります。「長期使用により、部品の劣化や腐食等により点火不良が生じ、未燃ガスが滞留して異常燃焼」したものが7件、「長期使用により、部品の劣化や腐食等により隙間や穴が開き、漏れたガスに引火」したものの7件といった、長期使用に伴う部品劣化等により、滞留した未燃ガスや漏れたガスに引火した事故が多くみられます。

また「製品に起因しない事故」においては、「冠水や給排気不足等で点火不良が生じ、点火操作を繰り返したことで滞留した未燃ガスに異常着火」したものが52件あります。

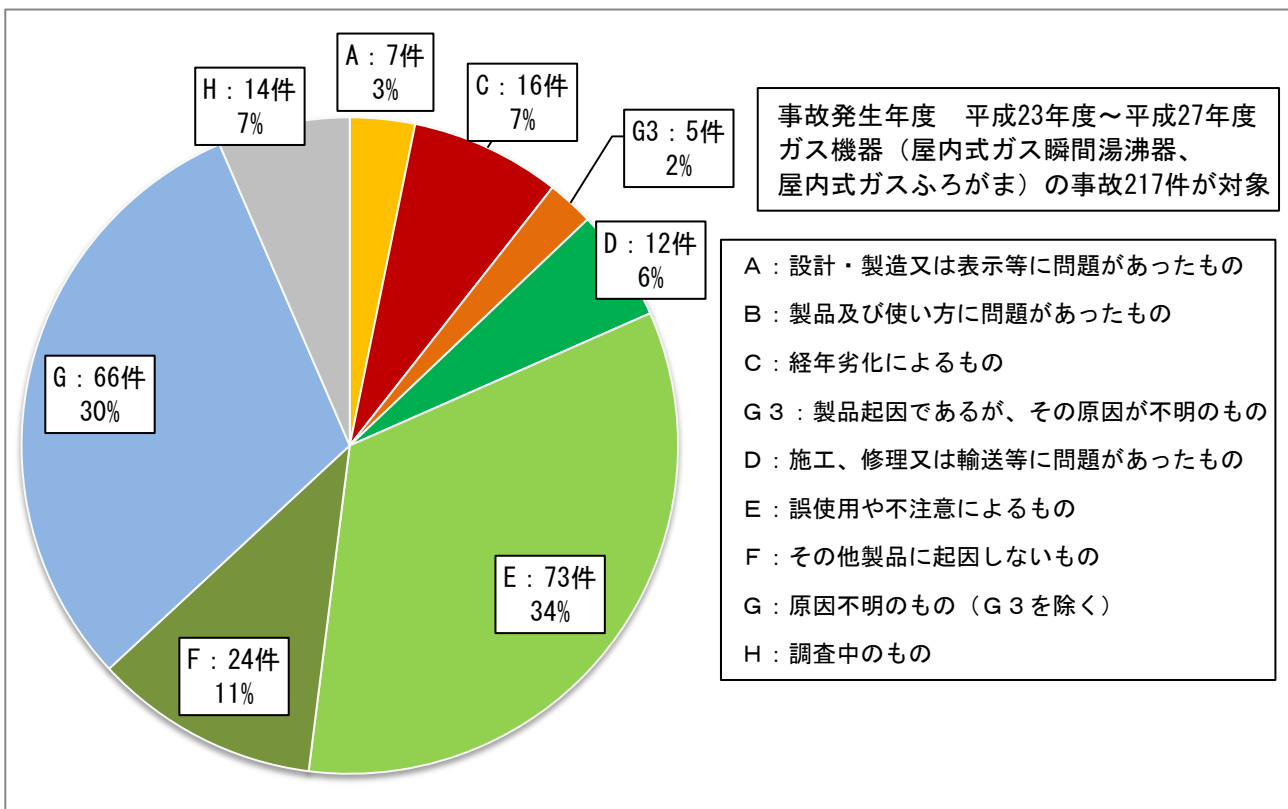


図3-2 原因区分別 屋内式ガスふろがま、屋内式ガス瞬間湯沸器の事故発生件数

表 2-2 屋内式ガスふろがま、屋内式ガス瞬間湯沸器の現象別 被害状況<sup>※8</sup>

被害状況		人的被害			物的被害		被害なし	合計	
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損			
製品に起因する事故	長期使用により、部品の劣化や腐食等により点火不良が生じ、未燃ガスが滞留して異常燃焼			1 ( 1 )		5 [ 2 ]	1	7 ( 1 ) [ 2 ]	
	長期使用により、部品の劣化や腐食等により隙間や穴が開き、漏れたガスに引火				1 [ 1 ]	6		7 ( 0 ) [ 1 ]	
	その他（ススやホコリの付着等によって空気不足となり異常燃焼等）					2 [ 1 ]		2 ( 0 ) [ 1 ]	
	A:設計、製造又は表示に問題があったもの					7 [ 2 ]		7 ( 0 ) [ 2 ]	
	G3:製品起因であるが、その原因が不明のもの					5		5 ( 0 ) [ 0 ]	
	小計	事故件数 被害者数 火災件数	0 ( 0 ) [ 0 ]	0 ( 0 ) [ 0 ]	1 ( 1 ) [ 0 ]	1 ( 0 ) [ 1 ]	25 ( 0 ) [ 5 ]	1 ( 0 ) [ 0 ]	28 ( 1 ) [ 6 ]
製品に起因しない事故	冠水や給排気不足等で点火不良が生じ、点火操作を繰り返したことで滞留した未燃ガスに異常着火			1 ( 1 )	5 [ 2 ]	46		52 ( 1 ) [ 2 ]	
	機器内部が冠水し、部品の腐食等により隙間や穴が空きガス漏れや炎溢れが生じ異常燃焼				6 [ 4 ]	13 [ 5 ]		19 ( 0 ) [ 9 ]	
	給排気筒の詰まりや室内換気不十分によって一酸化炭素中毒	2 ( 2 )		4 ( 11 )				6 ( 13 ) [ 0 ]	
	その他（積雪や養生シート等により給排気筒が閉塞され、給排気不良となり異常着火等）			5 ( 6 ) [ 2 ]	8 [ 7 ]	17 [ 4 ]	2 [ 1 ]	32 ( 6 ) [ 14 ]	
	小計	事故件数 被害者数 火災件数	2 ( 2 ) [ 0 ]	0 ( 0 ) [ 0 ]	10 ( 18 ) [ 2 ]	19 ( 0 ) [ 13 ]	76 ( 0 ) [ 9 ]	2 ( 0 ) [ 1 ]	109 ( 20 ) [ 25 ]
	G:原因不明のもの（G3を除く）				2 ( 2 )	7 [ 2 ]	56 [ 4 ]	1	66 ( 2 ) [ 6 ]
H:調査中のもの		1 ( 1 )		1 ( 1 )	2 [ 2 ]	10 [ 2 ]		14 ( 2 ) [ 4 ]	
合計		3 ( 3 ) [ 0 ]	0 ( 0 ) [ 0 ]	14 ( 22 ) [ 2 ]	29 ( 0 ) [ 18 ]	167 ( 0 ) [ 20 ]	4 ( 0 ) [ 1 ]	217 ( 25 ) [ 41 ]	

(※8) 平成 28 年 9 月 30 日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。( ) は被害者数。[ ] は火災件数。

人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

### ③ ビルトイン式電気食器洗機、浴室用電気乾燥機による事故

使用期間が10年以上のビルトイン式電気食器洗機、浴室用電気乾燥機の事故27件について、図3-3に「事故原因区分別 ビルトイン式電気食器洗機、浴室用電気乾燥機の事故発生件数」、表2-3に「ビルトイン式電気食器洗機、浴室用電気乾燥機の現象別 被害状況」を示します。

事故原因区分（別紙2参照）に基づいて分類すると、

- 製品に起因する事故（事故原因区分 A、C、G3） 13件（48%）
- 製品に起因しない事故（事故原因区分 D、E） 3件（11%）
- 原因不明のもの（事故原因区分 G3を除く G） 8件（30%）
- 調査中のもの（事故原因区分 H） 3件（11%）

となっています。（事故原因区分 B、F の事故はありませんでした。）

ビルトイン式電気食器洗機、浴室用電気乾燥機の事故では、「C:経年劣化によるもの」と判断された事故が8件（30%）あり、ビルトイン式電気食器洗機において「長期使用により、繰り返しドアを開閉したことで内部配線の絶縁被覆が劣化してショート」した火災事故が6件あります。

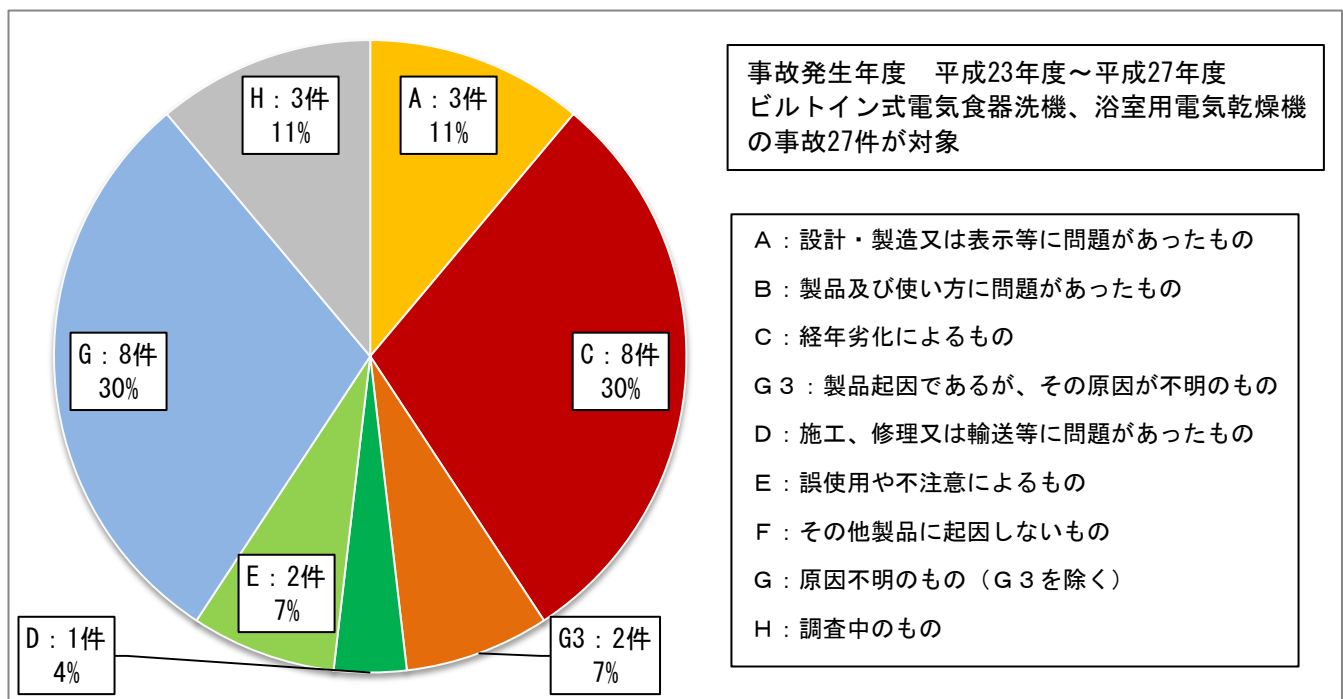


図3-3 原因区分別 ビルトイン式電気食器洗機、浴室用電気乾燥機の事故発生件数

表 2-3 ビルトイン式電気食器洗機、浴室用電気乾燥機の現象別 被害状況<sup>※8</sup>

被害状況		人的被害			物的被害		被害なし	合計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
製品に起因する事故	長期使用により、繰り返しドアを開閉したことで内部配線の絶縁被覆が劣化してショート				4 [ 4 ]	2 [ 2 ]		6 ( 0 ) [ 6 ]
	長期使用により、ヒーター内部で絶縁劣化				1 [ 1 ]			1 ( 0 ) [ 1 ]
	長期使用により、ヒーターのステンレス管が腐食					1 [ 1 ]		1 ( 0 ) [ 1 ]
	A: 設計、製造又は表示に問題があったもの				1 [ 1 ]	2 [ 2 ]		3 ( 0 ) [ 3 ]
	G3: 製品起因であるが、その原因が不明のもの					2 [ 1 ]		2 ( 0 ) [ 1 ]
	小計	事故件数 被害者数 火災件数	0 ( 0 ) [ 0 ]	0 ( 0 ) [ 0 ]	0 ( 0 ) [ 0 ]	6 ( 0 ) [ 6 ]	7 ( 0 ) [ 6 ]	0 ( 0 ) [ 0 ]
製品に起因しない事故	回転ノズルの挿入不十分により、運転中に外れてヒーターに接触し、熔融					2		2 ( 0 ) [ 0 ]
	施工業者による電源電線と屋内配線の接続が不十分で、接触不良が生じて異常発熱				1			1 ( 0 ) [ 0 ]
	小計	事故件数 被害者数 火災件数	0 ( 0 ) [ 0 ]	0 ( 0 ) [ 0 ]	0 ( 0 ) [ 0 ]	1 ( 0 ) [ 0 ]	2 ( 0 ) [ 0 ]	0 ( 0 ) [ 0 ]
G: 原因不明のもの (G3を除く)				1 ( 1 ) [ 1 ]	3 [ 3 ]	4 [ 2 ]		8 ( 1 ) [ 6 ]
H: 調査中のもの					1 [ 1 ]	2 [ 1 ]		3 ( 0 ) [ 2 ]
合計		0 ( 0 ) [ 0 ]	0 ( 0 ) [ 0 ]	1 ( 1 ) [ 1 ]	11 ( 0 ) [ 10 ]	15 ( 0 ) [ 9 ]	0 ( 0 ) [ 0 ]	27 ( 1 ) [ 20 ]

(※8) 平成 28 年 9 月 30 日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。( ) は被害者数。[ ] は火災件数。

人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

## 2. 長期使用製品安全点検制度と事故事例

### (1) 長期使用製品安全点検制度について（詳細は別紙1参照）

平成21年4月に「長期使用製品安全点検制度」が始まりました。特定保守製品は、所有者自身による保守が難しく、長期使用に伴う経年劣化によって重大事故が発生するおそれが高いため、製造・輸入事業者は特定保守製品の点検を義務づけられています。

また、「長期使用製品安全点検制度」は、「所有者の責務」として、

1. 特定保守製品の所有者は、特定製造事業者所有者情報を提供するものとする。
2. 特定保守製品の所有者は、特定保守製品の保守に関する情報を収集し、点検期間に点検を行う等その保守に努めるものとする。
3. 特定保守製品を賃貸のように供することを業として行う者は、特定保守製品の保守に関する情報を収集し、点検期間に点検を行う等その保守に努めなければならない。

の3項目を定めています。**所有者は、製造・輸入事業者に対して所有者情報の登録<sup>※9</sup>を行い、定期的に事業者による有償点検を受けることが重要です。**

事業者による点検の基準は、「経済産業省関係特定保守製品に関する省令」によって定められています。

### **特定保守製品を購入した方、または未登録の方は、所有者情報の登録を行いましょう。**

#### ➤ 所有者情報の登録

特定保守製品を購入した際は、製品の製造・輸入事業者に対して所有者情報の登録を行ってください。また、ホームページからの所有者情報の登録が可能な製造・輸入事業者もありますので、ご確認ください。

#### ➤ 事業者による点検の実施

所有者情報を登録すると、必要な時期に点検<sup>※10</sup>の案内が来るほか、リコール情報等の製品安全に関するお知らせが届くようになります。

製品を安全に使用するため、事業者による点検を実施し、必要に応じて整備・修理を行ってください。

### **制度開始以前に製造・輸入された製品をお持ちの場合は、10年を目安に点検を受けましよう。**

➤ 製造・輸入事業者は、制度開始以前の特定保守製品（既販品）の保守体制を整備することとしています。

➤ 製品を長期使用している場合は、注意してご使用いただくとともに、安全上、点検することをお勧めします。

点検の際には、製造・輸入事業者（特定製造事業者等）にご連絡ください。また、製品に異常があれば速やかに使用を中止してください。

➤ 特定製造事業者等は、点検することが望ましい時期が到来した製品について、ホームページ等で情報提供することとしておりますので、ご参照ください。

(※9) 所有者登録は平成21年4月以降に製造・輸入された特定保守製品が対象。

(※10) 点検は有償。また、点検によって整備、修理が必要となった場合には、別途費用が発生。

## (2) 事故事例の紹介と省令上における点検基準

長期使用による主な事故事例と省令上における点検基準を紹介します。点検を行うことで、以下に紹介する事故を未然に防止することができます。

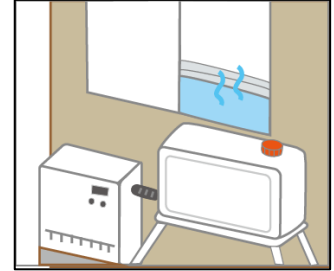
### (ア) 平成 26 年 11 月 30 日（青森県、拡大被害、**使用期間約 31 年**）

#### 【事故の内容】

**石油給湯機付きふろがま**を使用中、建物を全焼する火災が発生した。

#### 【事故の原因】

石油給湯機付きふろがまの長期使用により、灯油配管接続部のねじが緩み灯油が漏れ、ふろがまバーナーの逆火により、漏れた灯油に引火したと考えられる。



#### 省令上における点検基準

【点検項目】機器と燃料配管の接続部の状態

【点検内容】機器と燃料配管の接続部から燃料漏れがないこと。

#### <主要な安全視点>

- 油漏れがある場合、接続部の部品（パッキンなど）の劣化が疑われる。油漏れが進行すると火災の原因となる。

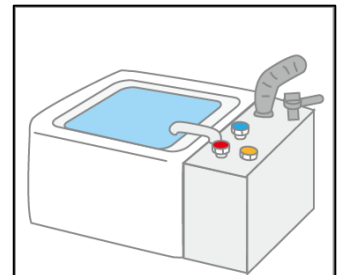
### (イ) 平成 27 年 2 月 5 日（福島県、拡大被害、**使用期間約 25 年**）

#### 【事故の内容】

**屋内式ガスふろがま**を使用し 1 時間ほど経ったところ、警報器が作動したため確認すると、製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。

#### 【事故の原因】

屋内式ガスふろがまの長期間使用により、パッキンが劣化し、浸入した水でガス連絡管が腐食し、ガス連絡管に穴が開いたため、漏れたガスにバーナーの火が引火したと考えられる。



#### 省令上における点検基準

【点検項目】機器のガス通路部

【点検内容】機器のガス接続口から給水自動ガス弁までのガス通路部のうち、弁の出口以外の部分からガス漏れがないこと

#### <主要な安全視点>

- ガス漏れがある場合、接続部の部品（パッキン等）の劣化などが疑われる。ガス漏れが進行すると、ガス爆発、火災の原因となる。



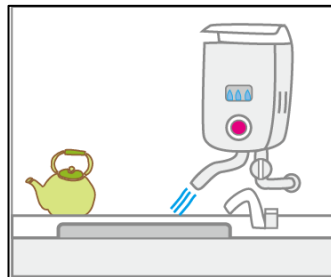
(ウ) 平成 27 年 10 月 26 日（神奈川県、製品破損、**使用期間約 23 年**）

**【事故の内容】**

使用者がシャワー中に異音に気づき確認したところ、**屋内式ガス瞬間湯沸器**を焼損する火災が発生していた。

**【事故の原因】**

屋内式ガス瞬間湯沸器の長期使用により、給気ファンに多量のほこり等が付着して燃焼空気が足りなくなり、かつ排気通路である熱交換器内が煤で閉塞したため、未燃ガスが機器内に滞留し、異常着火したと考えられる。



**省令上における点検基準**

**【点検項目】** 燃焼状態

**【点検内容】** 給湯量を最大にして、かつ出湯温度を最高にして給湯したときに、排ガス中の一酸化炭素濃度の測定値が 0.1%以下であること。

**<主要な安全視点>**

- 排ガス中の一酸化炭素濃度が規定値より高い場合、熱交換器の経年劣化（目詰まり等）や給排気筒の閉塞が疑われる。

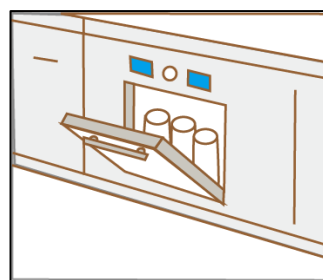
(エ) 平成 27 年 7 月 7 日（大阪府、拡大被害、**使用期間約 20 年**）

**【事故の内容】**

**ビルトイン式電気食器洗機**を使用中、製品を焼損する火災が発生した。

**【事故の原因】**

ビルトイン式電気食器洗機のドアを繰り返し開閉したことで、ドア下部の内部配線に半断線が生じ、絶縁被覆が劣化してショート、スパークが発生し着火したと考えられる。



**省令上における点検基準**

**【点検項目】** 内部配線

**【点検内容】** 配線の被覆に損傷がないこと。

**<主要な安全視点>**

- 内部配線が振動などにより結束部が外れてさらに振動しやすい状態になると、発煙、発火につながる危険性が増大する。
- 被覆の損傷や、屈曲部や接続コネクタでの異常発熱は、発煙、発火の原因となるおそれがある。

## お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター 所長 嶋津 勝美  
担当者 穴井、田代

- 記者説明会当日  
電話：03-3481-6566 FAX：03-3481-1870
- 記者説明会翌日以降  
電話：06-6612-2066 FAX：06-6612-1617

## 長期使用製品安全点検制度

「長期使用製品安全点検制度」は、製品の経年劣化による事故を未然に防止するための制度として、平成 21 年 4 月から施行されました。

所有者自身による保守が難しく、長期使用に伴う経年劣化によって重大事故が発生するおそれが高い 9 品目の製品を「特定保守製品」とし、その製造・輸入事業者（特定製造事業者等）、販売事業者等（特定保守製品取引事業者）、関連事業者、所有者のそれぞれが適切に役割を果たして、経年劣化による製品事故を防止する制度です。

### ■ 長期使用製品安全点検制度の対象製品（特定保守製品）※1

屋内式ガス用瞬間湯沸器（都市ガス用、LP ガス用）、屋内式ガスふろがま（都市ガス用、LP ガス用）、石油給湯機、石油ふろがま、密閉燃焼 (FF) 式石油温風暖房機、浴室用電気乾燥機、ビルトイン式電気食器洗機

(※1) 平成 21 年 4 月以降に製造・輸入された製品が対象。

### (1) 長期使用製品安全点検制度統一ロゴマーク



長期使用製品安全点検制度への理解を深めるため、特定保守製品の取扱説明書や所有者票、特定製造事業者等ホームページにおいて、上記のロゴマークが使用されています。

### (長期使用製品安全点検制度 案内ページ)

(取扱説明書 トップ)

(製品名)		(メーカー名)
(型式)		
<b>特定保守製品</b> <small>この機器は消費生活用製品安全法で指定された「特定保守製品」ですので、所有者登録と法定点検が必要です。詳しくは 26～29 ページをご覧ください。</small>	もくじ	ページ
保証書付	安全に正しくお使いいただくために	1
よく読んで安全に正しくお使いください。	各部のなまえ	4
	操作パネルのなまえとスイッチのはたらき	5
	コースの選び方	7
	操作の準備	9
	操作の手順	10

**長期使用製品安全点検制度に関するお願い**

**長期使用製品安全点検制度について**

- 長期使用製品安全点検制度とは「消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化（経年劣化）により安全上支障が生じ、一般消費者の生命又は身体に対して特に重大な危害を及ぼす恐れが多いと認められる製品の経年劣化による重大事故を未然に防止するため、消費者による点検その他の保守を適切に支援する制度」です。

**特定保守製品について**

- この機器は消費生活用製品安全法（消安法）で指定された特定保守製品です。
- 特定保守製品とは「消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化（経年劣化）により安全上支障が生じ、一般消費者の生命又は身体に対して特に重大な危害を及ぼす恐れが多いと認められる製品であって、使用状況等からみてその適切な保守を促進することが適当なもの（消安法第 2 条第 4 項）」として指定された製品です。

**点検（有償）について**

- 特定保守製品は、経年劣化による重大事故を防止するため、製品ごとに設定された点検期間中に法定の点検を受けることが製造の所有者の責務として定められています（「消安法第 3 条第 1 項」）。この制度に該当する点検期間になったら、忘れずに点検を受けてください。なお、法定の点検後も機器を使用する場合は、点検の都合判定に基づいた点検時期（点検員が点検時にお知らせします）に再度点検を受けることが、この機器を安全にお使いいただくために必要となりますのでご注意ください。
- 上記点検は、点検の基準に機器が適合しているかどうかを確認するものであって、その後の安全を担保するものではありません。

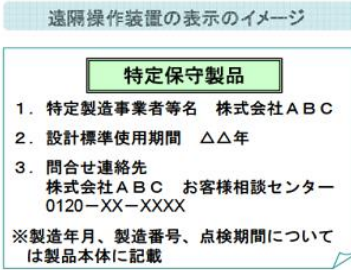
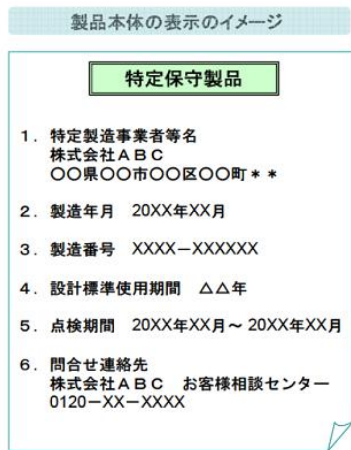
(図) 取扱説明書における特定保守製品の案内（左）、及びロゴマーク（右）

## (2) 製品情報の表示

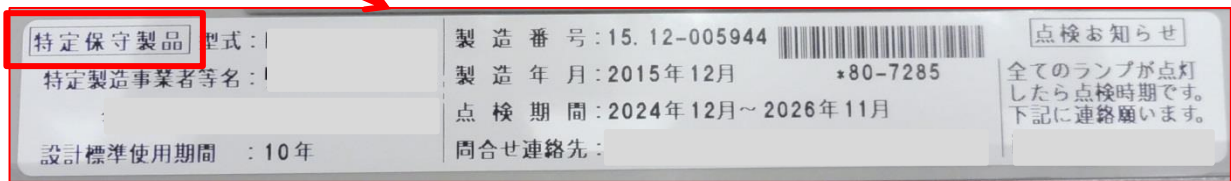
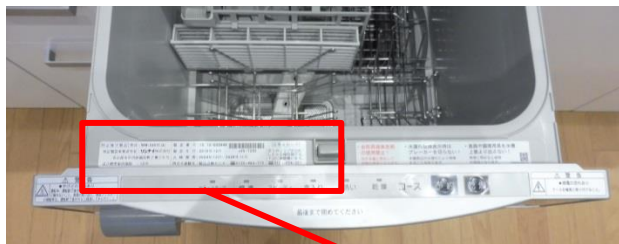
特定保守製品には、製品本体に以下のような製品情報が表示されます。

また、製品本体が天井や屋外に設置されるなど、表示が見えにくくなってしまう場合は、製品本体とともに遠隔操作装置（リモコン）などにも表示されています。

- 特定製造事業者等の氏名又は名称及び住所
- 製造年月
- 設計標準使用期間
- 点検期間の始期及び終期
- 点検その他の保守に関する問合せを受けるための連絡先
- 製造番号などの特定保守製品を特定するに足りる情報



(右図) 製品情報の表示イメージ



(写真) 表示場所例 ビルトイン式電気食器洗機

### (3) 所有者情報の登録～点検実施の流れ

#### ① 所有者情報を登録する

特定保守製品の所有者は、特定製造事業者等に対して所有者情報を提供する責務があります<sup>※2</sup>

所有者情報を登録<sup>※3</sup>することによって、特定製造事業者等は、点検時期や適切な保守に関する通知を行うことが可能になります。

(※2) 賃貸住宅、アパートにおいて家主が特定保守製品を設置した場合は、家主が所有者登録を行う。

(※3) 所有者登録は、所有者登録票（下図参照）を販売者に渡す、特定製造事業者等へ郵送するほか、特定製造事業者等のホームページからでも登録が可能

#### ② 点検を実施する

所有者情報の登録を行った所有者に対して、点検期間<sup>※4</sup>が開始する6か月前から点検期間開始日までの間に、点検通知が送られます。

製品を安全に使用するため、必ず点検<sup>※5</sup>を受けてください。

(※4) 点検期間は、設計上の標準使用期間の終期を挟んで1年以上3年以内の幅をもって定められる。

(※5) 省令別表第二で定められる点検基準に適合しているかどうかを確認するものであり、整備・修理等は含まない。また、点検は有償。







#### (4) 販売事業者等、関連事業者の責務

##### ① 販売事業者等の責務

販売事業者等…

特定保守製品の販売事業者、特定保守製品を設置した住宅生産者（建築請負業者）、不動産販売業者、リフォーム業者等

販売事業者等は、特定保守製品を購入者（所有者）に引き渡す際に、所有者票に記載されている事項を説明する義務があります。

特定保守製品の設置・修理等を他の事業者に委託等する場合は、その事業者に対し、本制度の所有者への説明等により、所有者情報の登録促進に取り組んでいただくようご周知ください。

##### ② 関連事業者の責務

関連事業者…

特定保守製品の設置・修理事業者、不動産取引仲介事業者、ガス・電気・石油供給事業者等

関連事業者は、特定保守製品の点検、所有者情報提供の必要性などを所有者に伝える責務があります。

販売事業者等から委託を受けて特定保守製品の設置・修理等を行う事業者は、販売事業者等に協力して、本制度の所有者への説明等より、所有者情報の登録推進に取り組んでください。

#### (5) 制度導入の背景<sup>※6</sup>

平成 19 年 2 月の小型ガス湯沸器に係る死亡事故等、製品の経年劣化が主因となる重大な事故が発生しており、市場出荷後の製品につき経年劣化による事故を未然に防止するための措置の必要性が認識されるに至りました。

このため、第 168 回臨時国会において、「消費生活用製品安全法の一部を改正する法律（平成 19 年法律第 117 号）」が成立し、平成 19 年 11 月 21 日に公布され、消費者自身による保守が難しく、経年劣化による重大事故の発生のおそれが高いものについて、経年劣化による製品事故を未然に防止するため、消費者による点検その他の保守を適切に支援する制度（長期使用製品安全点検制度）が設けられました。

改正後の消費生活用製品安全法（昭和 48 年法律第 31 号）は平成 21 年 4 月 1 日に施行されました。

(※6) 経済産業省「消費生活用製品安全法等に基づく長期使用製品安全点検制度及び長期使用製品安全表示制度の解説～ガイドライン～」より引用

## (6) 所有者情報の登録状況<sup>※7</sup>

(※7) 経済産業省 産業構造審議会 商務流通情報分科会

平成 28 年 6 月 30 日 第 4 回製品安全小委員会 資料 1-1「平成 27 年度 製品安全政策に関する取り組み状況について」([http://www.meti.go.jp/committee/sankoushin/shojo/seihin\\_anzen/pdf/004\\_01\\_01.pdf](http://www.meti.go.jp/committee/sankoushin/shojo/seihin_anzen/pdf/004_01_01.pdf)) より引用

表 特定保守製品の所有者情報登録状況 (平成 28 年 3 月時点)

	所有者情報登録 累計件数 (千件) (前年同期)	製造・輸入 累計台数 (千台) (前年同期)	登録率 (%) (前年同期)
屋内式ガス瞬間湯沸器 (都市ガス)	1,061 (925)	2,191 (1,919)	48% (48%)
屋内式ガス瞬間湯沸器 (液化石油ガス)	671 (586)	2,010 (1,778)	33% (33%)
屋内式ガスふろがま (都市ガス)	440 (388)	805 (712)	55% (54%)
屋内式ガスふろがま (液化石油ガス)	82 (72)	250 (219)	33% (33%)
石油給湯機	1,056 (889)	2,560 (2,197)	41% (41%)
石油ふろがま	77 (68)	208 (187)	37% (36%)
FF 式石油温風暖房機	392 (328)	1,207 (1,051)	33% (31%)
ビルトイン式電気食器洗機	1,415 (1,152)	3,798 (3,243)	37% (36%)
浴室用電気乾燥機	1,683 (1,335)	4,936 (4,109)	34% (33%)
合計	6,876 (5,741)	17,964 (15,416)	38% (37%)

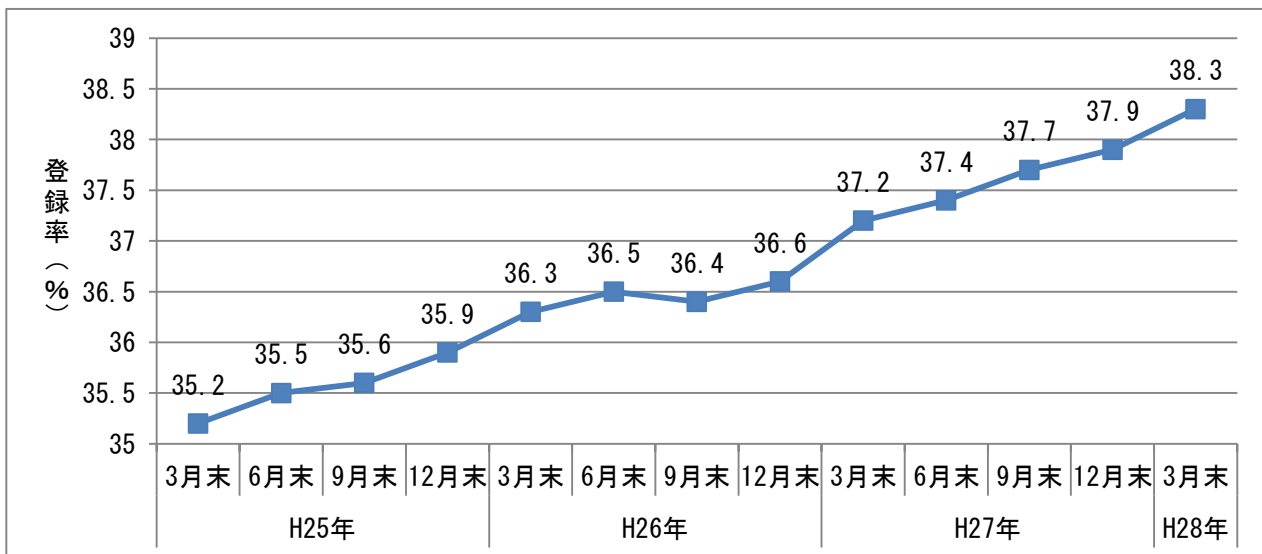


図 所有者情報の登録率の推移

## (7) 参考

- 「消費生活用製品安全法改正について」  
[http://www.meti.go.jp/product\\_safety/producer/shouan/07kaisei.html](http://www.meti.go.jp/product_safety/producer/shouan/07kaisei.html)
- 「あなたは大丈夫？冬の製品事故」(政府広報オンライン)  
<http://www.gov-online.go.jp/featured/201101/index.html>
- 「あなたの家の製品は大丈夫？長期使用製品安全点検・表示制度」(政府インターネットテレビ)  
<http://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg11441.html>

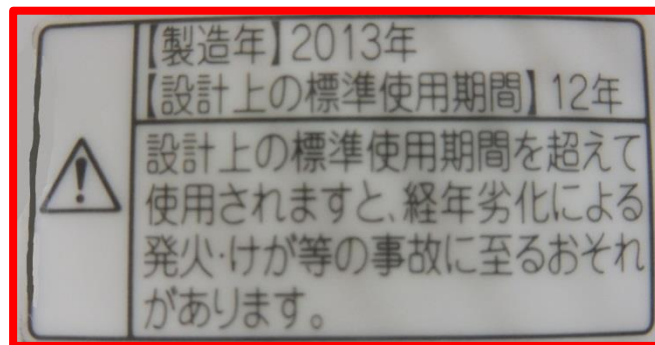
**(参考) 長期使用製品安全表示制度**

エアコン、扇風機、電気洗濯機（乾燥装置を有するものを除く）、換気扇、ブラウン管テレビの5品目において、製品の長期間使用に伴う経年劣化による事故を防ぐため、「長期使用製品安全表示制度」が設けられています。

平成21年4月以降に製造または輸入された上記5品目においては、「電気用品の技術上の基準を定める省令」で、「製造年」、「設計上の標準使用期間」「設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがある旨」の表示義務があります。



(写真) 表示場所例



(写真) 長期使用製品安全表示制度 表示イメージ

**事故原因区分について**

本文中では、事故原因区分を以下の表のように分類しています。

表 事故原因区分一覧

	区分記号	本文表記	事故原因区分
製品に起因する事故	A	設計、製造又は表示等に問題があったもの	専ら設計上、製造上又は表示に問題があったと考えられるもの
	B	製品及び使い方に問題があったもの	製品自体に問題があり、使い方も事故発生に影響したと考えられるもの
	C	経年劣化によるもの	製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したと考えられるもの
	G3	製品起因であるが、その原因が不明のもの	製品に起因するが、その原因が不明なもの
製品に起因しない事故	D	施工、修理、又は輸送等に問題があったもの	業者による工事、修理、又は輸送中の取扱い等に問題があったと考えられるもの
	E	誤使用や不注意によるもの	専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの
	F	その他製品に起因しないもの	その他製品に起因しないか、又は使用者の感受性に関係すると考えられるもの
その他	G	原因不明のもの（G3は除く）	焼損が著しいなどによって、原因が特定できず不明なもの 事故品が入手できないなど調査が行えないもの
	H	調査中のもの	調査中のもの

**死亡事故の概要について**

以下に参考情報として、死亡事故の概要を示します。

発生日	品名	発生場所	被害者	使用期間	事故内容（原因区分）
20111231	石油ストーブ	北海道	30歳代・女性 10歳未満・男児	約15年	原因不明（G）
20120201	石油ふろがま	和歌山県	90歳以上・女性	約10年	製品に異常が認められないことから、製品に起因しない事故と推定（F）
20120206	屋内式ガス瞬間湯沸器	茨城県	50歳代・男性	約34年	換気不良により一酸化炭素中毒（E）
20130705	屋内式ガスふろがま	神奈川県	20歳代・男性	約10年	異物付着によって給湯側熱交換器が閉塞したため一酸化炭素中毒（F）
20160107	屋内式ガス瞬間湯沸器	奈良県	40歳代・男性	約24年5か月	調査中（H）

## リコール情報について

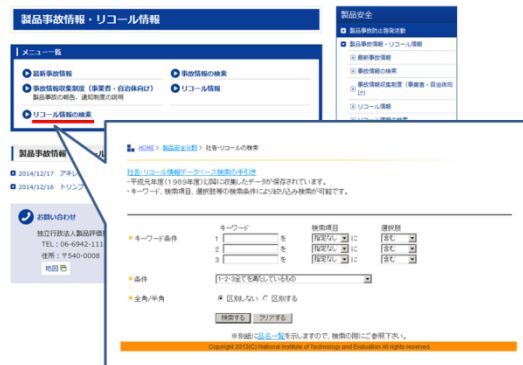
次ページの表に「リコール製品による被害状況別 事故件数」を示します。

使用期間 10 年以上の特定保守製品の事故 500 件のうち、リコール製品による事故は 76 件ありました。このうち 75 件はリコール実施後に発生したものとなっています。

リコールが行われた製品をお持ちの場合は、不具合が生じていなくても使用を中止し、お買い求めの販売店や製造・輸入事業者にご相談してください。

NITE ホームページにおいて、平成元年度（1989 年度）以降に製造事業者、販売事業者等の事業者が行ったリコール情報を収集したデータベースを公開しており、リコール情報の検索を行うことができます。

特定保守製品のリコール情報について、別紙 5 に記載しています。



<http://www.jiko.nite.go.jp/php/shakoku/search/index.php>

検索サイトを利用する場合は、「NITE リコール」等の単語で検索してください。



また、ガス・石油機器については、(一社)日本ガス石油機器工業会ホームページで検索を行うことができます。(http://www.jgka.or.jp/recall/index.html)

検索サイトを利用する場合は、「JGKA リコール」等の単語で検索してください。



表 リコール製品による被害状況別 事故件数<sup>※1</sup>

製品の種類		被害状況	人的被害			物的被害		被害なし	合計
			死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
電気機器		ビルトイン式電気食器洗機				1 (1)			1 (1)
		浴室用電気乾燥機				2 (2)			2 (2)
	小計	事故件数 リコール実施後に発生した件数	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	3 (3)
石油機器		石油給湯機				10 (10)	23 (23)		33 (33)
		石油ふろがま				22 (22)	11 (11)		33 (33)
		F F 式石油温風暖房機							0 (0)
	小計	事故件数 リコール実施後に発生した件数	0 (0)	0 (0)	0 (0)	32 (32)	34 (34)	0 (0)	66 (66)
ガス機器		屋内式ガス瞬間湯沸器 (都市ガス、LPガス)					2 (2)		2 (2)
		屋内式ガスふろがま (都市ガス、LPガス)					5 (4)		5 (4)
	小計	事故件数 リコール実施後に発生した件数	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (6)	0 (0)	7 (6)
合計		事故件数 被害者数	0 (0)	0 (0)	0 (0)	35 (35)	41 (40)	0 (0)	76 (75)

(※1) 平成 28 年 9 月 30 日現在、重複、対象外情報を除いたリコール製品による事故発生件数。

公表日	品名	事業者名称	社告内容
1997/6/12	ガス給湯器	東陶機器 (株)	[型式・機種等] カスタムμ16: RGH16WCYNB、RGH16WCHNB 東邦ガス向け: RGH16WCHNB(UIC0-16)(UIC0-16(N)) トリコン24: RGH24SBVB、RGH24SBDB、RGH24SBSB、RGH24JBVB、RGH24JDBD、RGH24JBSB、RGH24MBVB、RGH24MBDB、RGH24MBSB、RGH24HBVB、RGH24HBDB、RGH24HBSB、RGH24UBVB、RGH24UBDB、RGH24UBSB、RGH24LBVB、RGH24LBDB、RGH24LBSB、RGH24ABVB、RGH24ABDB、RGH24ABS、RGH24FBEB、RGH24FBDB、RGH24FBSB、RGH24GBVB [URL] <a href="http://www.toto.co.jp/News/yupro/gus_1997.htm">http://www.toto.co.jp/News/yupro/gus_1997.htm</a>
2006/8/4	半密閉式ガス瞬間湯沸器	株式会社ハーマン 株式会社ハーマンプロ	[製品名及び型式] 半密閉式ガス瞬間湯沸器 ダンホット S8S7型、S10S7型、S13S7型、S8S8型、S10S8型、S13S8型 北ガス S8S8型 KYE-608F、S10S8型 KYE-610F、S13S8型 KYE-613F 東邦ガス(TOHO GAS) S8S7型 YICM-160C、S10S7型 YICM-190D、S13S7型 YICM-260D ほくさん(HOXAN) S8S7型、S10S7型、S13S7型、S8S8型、S10S8型、S13S8型 広島ガス S8S7型、S10S7型、S13S7型 西部ガス(SAIBU GAS) S8S7型、S10S7型、S13S7型 ※株式会社陽栄製作所(現株式会社ハーマンプロ)が製造 [URL] <a href="http://www.harman.co.jp/">http://www.harman.co.jp/</a>
2007/2/12 再社告 2007/10/9 2008/10/7 2009/12/22	開放式小型湯沸器	リンナイ株式会社	[製品名及び型式] リンナイ(株) RUS-5RX、RUS-51BT 東京ガス(株) RN-405SD 東邦ガス(株) RI-5SH 西部ガス(株) RUS-5RX 北海道ガス(株) KRN-685C 京葉ガス(株) KRN-0111 北陸ガス(株) HRN-395A 東芝設備機器(株)(現:東芝キャリア(株)) HPG-52S、HPG-52DS、HPG-52S-K、HPG-52DS-K、 (株)日立ホームテック(現:日立アプライアンス(株)) GCD-508S タカラスタンダード(株) TUS-5RX [URL] <a href="http://www.rinnai.co.jp/safety/kyutou/index.html">http://www.rinnai.co.jp/safety/kyutou/index.html</a>
1992/3/4	シャワー付バランス型ガス風呂釜 (浴室内設置タイプ)	リンナイ(株)	[型式・機種等] RBF-20SS型、RBF-21S型、RBF-21S、RBF-16S、RBF-16SR、 RBF-15SR2、RBF-15SRW、RBF-7S2、RBF-7SW、RBF-8S、 RBF-22S、RBF-23S、RBF-820A [URL] <a href="http://www.rinnai.co.jp/safety/safety/index.html">http://www.rinnai.co.jp/safety/safety/index.html</a>
2006/7/15 再社告 2006/7/19 2006/10/3 2007/1/31 2008/7/5	ガス給湯器	パロマ工業株式会社	[製品名及び型式] 屋内設置型湯沸器 PH-81F、PH-82F、PH-101F、PH-102F、PH-131F、PH-132F、PH-161F [URL] <a href="http://www.paloma.co.jp/important/info_safety/2006/200607.html">http://www.paloma.co.jp/important/info_safety/2006/200607.html</a>
2006/12/12	ふろ釜	東京ガス株式会社	[製品名及び型式] シャワー付BFふろ釜 KG-813BFA-FXS、KG-813BFA-FXSH1、KG-813BFA-FXSH2、KG-813BFA-FXSM1、KG-813BFA-FXSM2 (製造:株式会社ガスター) [URL] <a href="http://www.tokyo-gas.co.jp/Press/20061212-01.html">http://www.tokyo-gas.co.jp/Press/20061212-01.html</a>
2006/12/13	ふろ釜	大阪ガス株式会社	[製品名及び型式] シャワー付BFふろ釜 32-876型、32-877型、32-878型、32-879型 (製造:株式会社ガスター) [URL] <a href="http://www.osakagas.co.jp/oshirase/furo.html">http://www.osakagas.co.jp/oshirase/furo.html</a>
2007/4/19	風呂がま(追いだき専用)	東京ガス株式会社	[製品名及び型式等] 風呂がま(追いだき専用) ST-913RFA(平成9年6月~平成18年5月 3,379台)、 ST-912RFBシリーズ(平成10年5月~平成18年5月1,140台)、 ST-9150CFS(平成11年10月~平成18年5月 162台)合計 4,681台 [URL] <a href="http://www.tokyo-gas.co.jp/Press/20070418-03.html">http://www.tokyo-gas.co.jp/Press/20070418-03.html</a>
2007/8/2	シャワー付バランス型ふろ釜	株式会社ガスター	[製品名及び型式等] 寒冷地向けシャワー付バランス型ガスふろ釜 ※製品名が「対象製品名」で、かつガス種が「対象ガス種」の機器が該当製品。 製造元 株式会社ガスター 販売会社/ブランド 株式会社ガスター、株式会社INAX/YUMEX SR-3SK1*、SR-3K1* リンナイ株式会社/Rinnai RBF-3SK1* 北海道ガス/KITAGAS KGA-760BF*、KGA-761BF*、KRN-761BF* ガス種 5C/6A、L1(6B、6C、7C)、L2(5A、5AN、5B)、L3(4A、4B、4C) ガス種は( )内の単独表示もあり。 ※対象製品名の末尾*に英数字が表示されています。 ※該当地域:北海道、青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県、新潟県、山梨県、長野県、富山県 [URL] <a href="http://www.gastar.co.jp/news/pdf/Syakoku20070801.pdf">http://www.gastar.co.jp/news/pdf/Syakoku20070801.pdf</a>

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2007/8/6	ガスふろ釜	株式会社 ノーリツ	<p>[製品名及び型式等] 寒冷地向けシャワー付バランス型ガスふろ釜 (GBSQ-815-KR) ※寒冷地向け製品です。 販売ブランド:ノーリツ 対象ガス種:ガス種 L1・L2・L3 ※13A (天然ガス) およびLPガスは対象外になります。 [URL] <a href="http://www.noritz.co.jp/info/09.html">http://www.noritz.co.jp/info/09.html</a></p>
2009/2/5	ガスふろがま	株式会社長府製作所	<p>[製品名及び型式] 型式:GF-200D ガス種:LP/製造番号:040142~064540/ ガス種:都市ガス/製造番号:005617~009390 型式:GF-201DE ガス種:LP/製造番号:017147~029121 ガス種:都市ガス/製造番号:005131~008146 ※型式製番シールの場所:GF-200D・201DEの本体正面に型式製番シールがあります。 [URL] <a href="http://www.chofu.co.jp/important/20090204.html">http://www.chofu.co.jp/important/20090204.html</a></p>
2009/3/6	ガスふろ給湯器	株式会社ノーリツ (製造) (販売) / 株式会社日立ハウステック (販売)	<p>[製品名及び型式] 屋内設置型強制給排気式「ガスふろ給湯器」 販売ブランド:ノーリツ 製品型式名:GT-165W-FFA、GT-165AW-FFA、GT-165AWX-FFA [URL] <a href="http://www.noritz.co.jp/info/10.html">http://www.noritz.co.jp/info/10.html</a></p>
2011/6/22	密閉式 (BF式) ガスふろがま (電池式)	株式会社ガスター (製造) 東京ガス株式会社 (販売) 大阪ガス株式会社 (販売) リンナイ株式会社 (販売) 株式会社長府製作所 (販売)	<p>[製品名及び型式] ・YUMEX (ガスターブランド):都市ガス仕様・LPG仕様 (シャワー付き) SR-ASN-***、SR-ASBN-***、SR-A60SN-***、SR-A60SB2N-***、SR-A60S2N-***、SR-A80SN-***、SR-A80S2N-*** (シャワーなし) ER-ASN-*** ・東京ガスブランド:全機種都市ガス仕様 (シャワー付き) KG-806BF0シリーズ、KG-706BF0シリーズ、KG-808BF0シリーズ (シャワーなし) KG-912BFDシリーズ、KG-912BFBシリーズ ・大阪ガスブランド機器 (給湯・シャワー付き/都市ガス仕様) 531-R940~R945 (おふろ沸かし専用/LPガス仕様) 531-R952、R953、R962、R963 ・リンナイブランド:都市ガス仕様・LPG仕様 (シャワー付き) RBF-A3***、BF-A60S***、RBF-A70S***、RBF-A80S***、RBF-AS*** (シャワーなし) RBF-AERS*** ・長府製作所ブランド:都市ガス仕様・LPG仕様 (シャワー付き) BFS-638S、858S (シャワーなし) BF-108S [URL] <a href="http://www.gastar.co.jp/news/pdf/20110622-1.pdf">http://www.gastar.co.jp/news/pdf/20110622-1.pdf</a></p>
2013/3/7	ガスふろがま、ふろがまバーナ、ガストーブ	株式会社 世田谷製作所	<p>[製品名及び型式] ・ふろがま 株式会社 世田谷製作所 R38B、R137B、CS31B、CS32B、CS33B、FE15 株式会社 オカキン OK-A R型-LE (*1)、OK-B R型-LE (*1) 東京ガス株式会社 ST-913RFA (*2)、ST-912RFBシリーズ (*2)、ST-915OCFS (*2) 株式会社 ハーマン YF702 (*2) ・ふろがまバーナ 株式会社世田谷製作所 TA-097UET、TA-270UET、TA-0K270UET ・ガストーブ 株式会社 世田谷製作所 GS-1 *1は株式会社 世田谷製作所の対象ふろがまバーナを供給。 *2は株式会社 世田谷製作所OEM品。 ○該当品の見分け方:品名または型式名の記載場所は下記のURLを参照してください。 [URL] <a href="http://www.setagaya-seisakusyo.co.jp/">http://www.setagaya-seisakusyo.co.jp/</a></p>
2013/7/10	ガスふろ給湯器	(製造) 株式会社ハウステック (販売) 大阪ガス株式会社 東京ガス株式会社 株式会社ノーリツ モリタ工業株式会社	<p>[製品名及び型式] 外壁貫通設置型ふろ給湯器 1) 販売ブランド:株式会社ハウステック:WF-S1601シリーズ 製品型式名:WF-S1601AT、WF-S1601AT-C、WF-S1601AT-KJ、WF-S1601AT-C-KJ、WF-S1601ATD 2) 販売ブランド:大阪ガス株式会社 製品型式名:131-K970、131-K971、131-K972、131-K959 3) 販売ブランド:東京ガス株式会社 製品型式名:HK-S816RFWHB-RA、HK-S816RFWHBRAK 4) 販売ブランド:株式会社ノーリツ:ガスふろ給湯器(バスインク) 製品型式名:GTS-C165A、GTS-C165AC、GTS-C165AD 5) 販売ブランド:モリタ工業株式会社:ML-C1601Hシリーズ 製品型式名:ML-C1601HS、ML-C1601HC、ML-C1601HL [URL] 1) 株式会社ハウステック お客様相談窓口 <a href="http://www.housetec.co.jp/2013/07/wf-s1601.html">http://www.housetec.co.jp/2013/07/wf-s1601.html</a> 2) 大阪ガス株式会社 <a href="http://www.osakagas.co.jp/company/press/pr_2013/1204483_7831.html">http://www.osakagas.co.jp/company/press/pr_2013/1204483_7831.html</a> 3) 東京ガス株式会社 <a href="http://www.tokyo-gas.co.jp/important/20130710-01.html">http://www.tokyo-gas.co.jp/important/20130710-01.html</a> 4) 株式会社ノーリツ <a href="http://www.noritz.co.jp/info/30.html">http://www.noritz.co.jp/info/30.html</a> 5) モリタ工業株式会社 コールセンター <a href="http://moritakk.co.jp/documents/ProductsInfo_20130710.pdf">http://moritakk.co.jp/documents/ProductsInfo_20130710.pdf</a></p>

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2002/10/24 再社告 2003/6/2 2003/7/22 2003/9/12 2006/12/4 2007/7/9	石油給湯機	東陶機器株式会社 株式会社ノーリツ ほか4社	<p>[製品名及び型式等] 石油直圧式給湯機 (販売会社名/ブランド名) 東陶機器株式会社/TOTO (※ 先頭6桁が下記の6製品) RPE32K○○、RPH32K○○、RPE40K○○、RPH40K○○、RPE41K○○、RPH41K○○ 長州産業株式会社/CIG PDF-321V、PDF-401A、PDF-411D-A、DX-411D、PDX-321V、PDX-411D ネボン株式会社/NEPON URA320、URA320S、URB320、URB320S、UR320、UR320S、UR404S 製造期間:1995年(平成7年)8月から1999年(平成11年)6月まで 株式会社ノーリツ/NORITZ OTQ-302・303・403・305・405シリーズ、OQB-302・403・305・405シリーズ、RC-7001M、RC-7003M、RC-7101M、RC-7106M、RC-7113M、RC-6003M、RC-6101M、RC-6103M、RC-6206M、RC-6301M、RC-1012M 製造期間:1997年(平成9年)3月~2001年(平成13年)3月まで 高木産業株式会社/パーパス TP-BS320AZR-D、TP-BS320R-D、TP-BS320E-D、TP-BS320F-D、TP-BS402AZR-D、TP-BS402AZF-D、TP-BSQ402R-D、TP-BSQ402R-DS、TP-BSQ402E-D (但し、TP-BS320は除く) 製造期間:1995年(平成7年)8月~1999年(平成11年)6月 AX-400ZRD 製造期間:1997年(平成9年)3月~2001年(平成13年)3月 株式会社日立ハウステック HO-350、360、450、KZO-460 製造期間:1997年(平成9年)7月~2001年(平成13年)3月 [URL] (東陶機器株式会社、長州産業株式会社、ネボン株式会社) <a href="http://www.toto.co.jp/News/yupro/">http://www.toto.co.jp/News/yupro/</a> (株式会社ノーリツ) <a href="http://www.noritz.co.jp/info/05-1.html">http://www.noritz.co.jp/info/05-1.html</a> (高木産業株式会社) <a href="http://www.purpose.co.jp/home/announce/product/wh200210.html">http://www.purpose.co.jp/home/announce/product/wh200210.html</a> (株式会社日立ハウステック) <a href="http://www.housestec.co.jp/2002/10/ho-350.html">http://www.housestec.co.jp/2002/10/ho-350.html</a></p>
2005/1/24 再社告 2006/12/4	石油給湯器	長州産業株式会社 株式会社ワカサ	<p>[製品名及び型式] 石油直圧式給湯機 ①長州産業(株) PDX-403D、DX-403D、PDF-403D、DF-403D、DX-403DF ②(株)ワカサ WBF-400C ③東京ツチヤ販売(株) AX-402A、EX-403A、FK-405A、FC-406A ※ 製品名は、器具本体前面シールに表示。 ※ メインリモコン(台所)からも該当製品がわかります。(リモコンの製品名:RC-17、RC-21M) [URL] (長州産業株式会社) <a href="http://www.choshu.co.jp/2009/0506200057.html">http://www.choshu.co.jp/2009/0506200057.html</a> (株式会社ワカサ) <a href="http://www.wakasa-e.co.jp/">http://www.wakasa-e.co.jp/</a></p>
2005/3/24	石油給湯器	株式会社長府製作所	<p>[製品名及び型式] ・石油給湯器 IB-422D*、IB-423D*、IB-425DKF、IB-426D*、IBF-422DS、IBF-423DS、IBF-425DK、IBF-426DS、IBF-427DS ・強制追焚付石油給湯器 KIB-422D*、KIB-423D*、KIB-425D*、KIB-426D*、KIBF-422D*、KIBF-423D*、KIBF-425DKA、KIBF-426D*、KIBF-427DSA、KIBF-423DA、SRK-423DXJ ・ファミリースバ FSK-422DS、FSK-423D* [URL] <a href="http://www.choFu.co.jp/importAnt/20050324.html">http://www.choFu.co.jp/importAnt/20050324.html</a></p>
2007/7/28	石油ふろがま・追焚付石油給湯器	株式会社長府製作所	<p>[製品名及び型式等] ・石油ふろがま JK、JK2、JK-N、JPS-T3、JPK-N3、CK-8・8E、CK-9・9E、CK-10・10S、CK-11・11S ・追焚付石油給湯器 JIB-T、JIB-2T、JIB-4、JIB-5*、JIB-6*、JIB-7* (*には英字が入る場合があります) [URL] <a href="http://www.chofu.co.jp/support/important/20070727.html">http://www.chofu.co.jp/support/important/20070727.html</a></p>
2008/9/2	石油直圧式給湯機	(製造)TOTO株式会社/(販売)サンボット株式会社/高木産業株式会社/長州産業株式会社/長府工業株式会社/ネボン株式会社/株式会社パロマ	<p>[製品名及び型式] 販売元:TOTO株式会社(旧:東陶機器株式会社)/ブランド名:TOTO 型式名(品番):RPE33*、RPE43*、RPH33*、RPH43* 製造年月:000年5月~2004年8月 販売元:サンボット株式会社/ブランド名:sunpot 型式名(品番):HMG-Q405ASO、HMG-Q405FSO、HMG-405MSO、 製造年月:2001年9月~2004年8月 販売元:長州産業株式会社/ブランド名:CIG 型式名(品番):PDF-412D-Z、PDF-322D、PDF-412D、PDX-322V、PDX-412D、DX-412D 製造年月:2000年9月~2004年8月 販売元:ネボン株式会社/ブランド名:NEPON 型式名(番):URA326B、URB326B、URB406B、UR326B、UR326BS、UR406B 製造年月:2001年1月~2004年8月 販売元:株式会社Paloma/ブランド名:パロマ 型式名(品番):OFH-30*、OFH-40*、OPH-30*、OPH-40* 製造年月:2000年8月~2003年11月 販売元:長府工業株式会社/ブランド名:CHOFUKOSAN 型式名(品番):CKX-430AF、CKX-430AE、CKX-430AE II、CBX-430F、CBX-430E 製造年月:2001年4月~2006年3月 [URL] TOTO株式会社 : <a href="http://www.toto.co.jp/News/yupro/index.htm">http://www.toto.co.jp/News/yupro/index.htm</a> サンボット株式会社 : <a href="http://www.sunpot.co.jp/news/news.php?eid=00021&amp;cate=1">http://www.sunpot.co.jp/news/news.php?eid=00021&amp;cate=1</a> 長州産業株式会社 : <a href="http://www.choshu.co.jp/2009/0304200824.html">http://www.choshu.co.jp/2009/0304200824.html</a> ネボン株式会社 : <a href="http://www.nepon.co.jp/important/200">http://www.nepon.co.jp/important/200</a> 株式会社パロマ : <a href="http://www.paloma.co.jp/important/info_repair/2008/200809a.html">http://www.paloma.co.jp/important/info_repair/2008/200809a.html</a> 長府工業株式会社 : <a href="http://chofukosan.com/individual/gi/">http://chofukosan.com/individual/gi/</a></p>

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2009/9/1	石油給湯機	長州産業株式会社	<p>[製品名及び型式] 石油小型給湯機（本体型式/台所リモコン型式） IX-471DH/RC-80M、JX-411DG/RC-80M、MX-471DG/RC-80M、MX-471DH/RC-80M、 PX-411DG/RC-80M、YX-371D/RC-80M 石油給湯機付ふろがま（本体型式/台所リモコン型式/浴室リモコン型式） IF-471DH-A/RC-82M/RC-82A、JF-411DG/RC-81M/RC-81F、JF-411DG-A/RC-82M/RC-82A、 MF-471DH-A/RC-82M/RC-82、APF-411DG/RC-81M/RC-81F、PF-411DG-A/RC-82M/RC-82A [URL] <a href="http://www.choshu.co.jp/modules/information/">http://www.choshu.co.jp/modules/information/</a></p>
2005/4/21 再社告 2005/11/30	石油温風暖房機	パナソニック株式会社(旧：松下電器産業株式会社)	<p>[製品名及び型式] FF式石油温風機 OK-2525、OK-3526、OK-4020、OK-302B、OK-402B、OK-2526、OK-3527、OK-4030、OK-303B、OK-403B、OK-2535、 OK-3535、OK-2526HA、OK-2536、OK-3536、OK-3527HA、OK-3525、OK-3537、OK-4020HA 石油フラットラジアンヒーター OK-R500F、OK-R800C、OK-R501F、OK-R800AC、OK-V501F、OK-U501AF [URL] <a href="https://sec.panasonic.co.jp/appliance/info/heating/index.htm">https://sec.panasonic.co.jp/appliance/info/heating/index.htm</a></p>
2007/9/11	石油ストーブ	東芝テクノネットワーク株式会社東芝コンシューママーケティング株式会社	<p>[製品名及び型式等] 密閉式石油ストーブ（排気管はずれ検知装置付き） ・石油温風ヒーター MSPシリーズ（1機種） MSP-322S KSPシリーズ（30機種） KSP-32L、KSP-32LB、KSP-32G、KSP-32G1、KSP-32GB、KSP-32GB1、KSP-32H、KSP-32HB、 KSP-32W、KSP-32WB、KSP-A37、KSP-A37B、KSP-45LD、KSP-45LD1、KSP-45LDB、KSP-45LDB1、KSP-45CD、 KSP-45GDB、KSP-45HD、KSP-45HDB、KSP-A52D、KSP-A52DB、KSP-G52D、KSP-G52DB、KSP-70GDB、 KSP-70GDB1、KSP-80KDB、KSP-A93DB、KSP-43CD、KSP-43CDB DSPシリーズ（15機種） DSP-352S、DSP-502S、DSP-702S、DSP-353S、DSP-503S、DSP-703S、DSP-1003S、 DSP-322S、DSP-503B、DSP-703B、DSP-1003B、DSP-354S、DSP-504S、DSP-704S、DSP-1004S ・石油カスタムヒーター THUシリーズ（2機種） THU-F110P-③ THU-F110P-④ ※上記の石油温風ヒーターKSPシリーズのうち、3機種（KSP-A93DB、KSP-43CD、KSP43CDB）は、2007年9月5日の公表後に判明しましたので追記しています。 ※形名は、「機器正面」、「機器右側面」、「機器正面の操作部」のいずれか一カ所に記載しています。 [URL] <a href="http://www.toshiba.co.jp/tcn/news/press070905_j.htm">http://www.toshiba.co.jp/tcn/news/press070905_j.htm</a></p>
2004/11/1 再社告 2006/11/1 2007/2/19	電気食器洗い機／ 電気衣類乾燥機	ボッシュ株式会社	<p>[製品名及び型式] ・電気乾燥機（衣類乾燥機） (1) WTA2300、WTA2910、WTL4100～WTL4610、WTU4200～WTU4600 ・電気食器洗い機（ビルドイン形） (2) 幅60cmタイプ幅 SMI5011～SMI6032、SMS2011～SMS6021、SMU2011～SMU2021、S510 *上記機種のうち、製造番号がFD6901～FD7212の製品が対象 (3) 幅45cmタイプ SPI5011～SPI6322、SPS2011～SPS6122、P612、P512 [URL] <a href="http://www.bosch.co.jp/jp/notice/">http://www.bosch.co.jp/jp/notice/</a></p>
2007/4/13	ビルトイン型食器 洗い乾燥機	(製造元) 株式会社 ハーマンプロ	<p>[製品名及び型式等] ビルトイン型食器洗い乾燥機（販売元） ①ハーマン（FB4503PC、FB4503PF、B4504PC、FB4504PF） ②クリナップ（CWFA-45A） トーヨーキッチン （FB4504PC） ③松下電工、NAIS（QG24EW2、QG24EW2Q、SUE24EW2） ④ナスステンレス（EKW-453C、EKW-453D） [確認方法] 銘板製造番号を確認（扉を開けた天井面に貼付） [URL] <a href="http://www.harman.co.jp/important/jisyutenken/2007/04/post-13.html">http://www.harman.co.jp/important/jisyutenken/2007/04/post-13.html</a></p>
2007/4/13	ビルトイン型食器 洗い乾燥機	大阪ガス株式会社	<p>[製品名及び型式等] ビルトイン型食器洗い乾燥機 型式 OSAKAGAS 115-5058 の一部 [確認方法] 銘板製造番号を確認（扉を開けた天井面に貼付） [URL] <a href="http://www.osakagas.co.jp/company/press/pr_2007/070412.html">http://www.osakagas.co.jp/company/press/pr_2007/070412.html</a></p>
2008/5/19	ビルトイン型食器 洗い乾燥機	TOTO株式会社	<p>[製品名及び型式] 製品名：ビルトイン型食器洗い乾燥機（ウォッシュアップ エコ） 対象型式：EUF100 対象製造番号：067*****2A、068*****2A、069*****2A、06X*****2A、06Y*****2A、 06Z*****2A、071*****2A、072*****2A、073*****2A、074*****2A、075*****2A、076*****2A 注・・*には数字が入ります。 [URL] <a href="http://www.toto.co.jp/News/wup_b/index.htm">http://www.toto.co.jp/News/wup_b/index.htm</a> [製品番号及び製造番号の確認方法] 最初に「製品番号」を確認し、該当した場合に「製造番号」をご確認ください。 1. 製品番号をご確認ください。操作パネル左側：電源入/切上部に「TOTO WASHUP EUF100」と表示しています。 注・・（EUF100Rと記載した商品は対象外です。） 2. 製品番号が該当していた場合、「製造番号」をご確認ください。 「製造番号」の確認は上記「対象製造番号」を参考にしてください。 3. 「製品番号」及び「製造番号」が該当した場合、ご使用をお控えいただき、上記の問い合わせ先までご連絡をお願い申し上げます。</p>

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2011/6/2	幅30cmビルトイン食器洗い乾燥機（「長期使用製品安全点検制度」対象製品）	パナソニック株式会社（旧：松下電器産業株式会社）	<p>〔製品名及び型式〕  ブランド：National 販売元：（ナショナル）松下電器産業（株）（現社名：パナソニック（株））  NP-3000BP、NP-3000BW、NP-3000M（フロアタイプ）、NP-U30A1P1  ブランド：本体にブランド表示なし  NP-3000BP-0、NP-3000BW-0、NP-U30A1P1AA  ブランド：OSAKA GAS 販売元：大阪ガス（株）  38-405  ブランド：Cleanup 販売元：クリナップ（株）  CWFМ-301S、CWFМ-30A  ブランド：sunwave 販売元：サンウエーブ工業（株）  SW-3000、MSW-3011  ブランド：Takara standard 販売元：タカラスタンダード（株）  TDW-3000BP、TDW-3000BPN  ブランド：TOKYO GAS 販売元：東京ガス（株）  MA-D301  ブランド：TOSHIBA 販売元：（株）東芝、東芝設備機器（株）（現社名：東芝ホームアプライアンス（株））  BDW-530UP  ブランド：TOTO 販売元：東陶機器（株）（現社名：TOTO（株））  BMW30、KNMWO30、KUMWO35、KUMWO36  〔URL〕 <a href="http://panasonic.co.jp/ap/info/important/dishwasher/doc201105.html">http://panasonic.co.jp/ap/info/important/dishwasher/doc201105.html</a></p>
2012/8/24	電気食器洗い乾燥機	リンナイ株式会社	<p>〔製品名及び型式〕  ブランド：Rinnai（リンナイ）  機種：RKW-V45A、RKW-V45A-SV、RKW-V45A-GY、PRKW-V45A、PRKW-V45A-SV、RKW-458C、RKW-458C-SV、RKW-458C-G、RKW-458C(A)、RKW-458C(A)-SV、RKW-402A、RKW-402A-SV、TKW-402A、TKW-402A-SV、RKW-C401C、RKW-C401C-SV、RKW-C401CSA、RKW-C401CSA-SV  ブランド：Cleanup（クリナップ）  機種：CWPR-45B、CWPR-45BS  ブランド：Takara standard（タカラスタンダード）  機種：TKW-V45A、TKW-V45A-SV  ※製造番号の詳細な確認方法は下記のURLに掲載されています。  〔URL〕 <a href="http://www.rinnai.co.jp/safety/safety/2012/0824/">http://www.rinnai.co.jp/safety/safety/2012/0824/</a></p>
2012/9/27	ビルトイン式電気食器洗機	株式会社ハーマン	<p>〔製品名及び型式〕  ブランド：ハーマン 型式：FB4503PC、FB4503PF、FB4504PF、FB4504WC、FB4504WF  ブランド：パナソニック（※旧松下電工） 型式：QG24EW2、QG24EW2Q、QGS24EW2、SUE24EW2、SUS24EW2  ブランド：ナスラック（※旧ナスステンレス） 型式：EKW-453C、EKW-453D  ブランド：クリナップ 型式：CWFA-45A  ブランド：トーヨーキッチン 型式：FB4504PC  〔URL〕 <a href="http://www.harman.co.jp/important/jisyutenken/2012/09/post-16.html">http://www.harman.co.jp/important/jisyutenken/2012/09/post-16.html</a></p>
2012/12/7	食器洗い機	GE Appliances Asia, Ltd(GE)	<p>〔製品名及び型式〕 ブランド名：GE モデル番号：GLD5、GLD6  シリアル番号：FL、GL、HL、LL、ML、VL、ZL、AM、DM、FM、GM、HM、LM、MM、RM、SM、TM、VM、ZM、AR、DR、FR、GR  ※今回の修理の対象となるのは、モデル番号とシリアル番号の両方が上記に示された文字で始まっている製品です。  〔URL〕 <a href="http://www.ge.com/jp/announcements/rci_dec7_12.html">http://www.ge.com/jp/announcements/rci_dec7_12.html</a></p>
2005/5/17	浴室換気・乾燥・暖房機	マックス株式会社 /マックスシンワ株式会社	<p>〔製品名及び型式〕 Dry・Fan24  （品番／メーカー名）  BS-131AH、BS-131H-CX、BS-131HCX-MH、BS-131H-MH／マックス株式会社  BS-131SH3／サンウエーブ工業株式会社、エア・ウォーター・エモト株式会社  BS-131SH3-CX／サンウエーブ工業株式会社  BS-131SH-CX／株式会社日立ハウステック、マックス株式会社  BS-131SHY／ヤマハリビングテック株式会社、エア・ウォーター・エモト株式会社  UFD-14A、UFD-14PA／株式会社 INAX、トステム株式会社  〔URL〕 <a href="http://www.max-ltd.co.jp/news/n050517.html">http://www.max-ltd.co.jp/news/n050517.html</a></p>
2006/6/22 再社告 2006/8/21	浴室暖房乾燥機	株式会社ハーマンプロ／株式会社ハーマン／株式会社ノーリツ	<p>〔製品名及び型式〕  FD2809F2、FD2809F3、FD2809J2、FD2809J3（製造：株式会社ハーマンプロ）  〔確認方法〕 リモコン型番を確認（下図参照）  〔URL〕  <a href="http://www.harman.co.jp/important/jisyutenken/2006/06/post-4.html">http://www.harman.co.jp/important/jisyutenken/2006/06/post-4.html</a>  <a href="http://www.noritz.co.jp/info/3-1.html">http://www.noritz.co.jp/info/3-1.html</a></p>
2006/6/22 再社告 2006/8/18 2006/8/24 2006/10/30	浴室暖房乾燥機	東京ガス株式会社	<p>〔製品名及び型式〕 BBD-3300ACSK-2、BBD-3300ACSK-3、BBD-3301ACSK-J3、BBD-3302ACSK-J2  （製造：株式会社ハーマンプロ）  〔確認方法〕 リモコンを確認（下図参照）  〔URL〕 <a href="http://www.tokyo-gas.co.jp/Press/20060622-01.html">http://www.tokyo-gas.co.jp/Press/20060622-01.html</a></p>
2006/6/22 再社告 2006/8/18 2006/8/24 2006/10/30 2014/5/29	浴室暖房乾燥機	大阪ガス株式会社	<p>〔製品名及び型式〕 161-5501、5510、5511型（製造：株式会社ハーマンプロ）  〔確認方法〕 リモコン型番を確認（下図参照）  〔URL〕 <a href="http://www.osakagas.co.jp/company/press/pr_2006/060622_1.html">http://www.osakagas.co.jp/company/press/pr_2006/060622_1.html</a></p>
2007/2/19 再社告 2007/3/13	電気式浴室換気乾燥暖房機（再度のお知らせ）	三菱電機株式会社	<p>〔製品名及び型式〕  V-130BK-RN、V-130BK2-RN、V-130BK2-RN-1、V-106BZ2、V-106BZ3、WD-100BND、V-100BZE-KT  〔URL〕 <a href="http://www.mitsubishielectric.co.jp/oshirase/yokushitsukanki/index.html">http://www.mitsubishielectric.co.jp/oshirase/yokushitsukanki/index.html</a></p>



公表日	品名	事業者名称	社告内容
2007/7/9	電気式浴室換気乾燥暖房機	TOTO株式会社	<p>[製品名及び型式等]            電気式浴室換気乾燥暖房機            EKK401型、EKK411型、EKK411N1型、TYK100型、TYK101型、TYK100R型、TYK200型、TYK201型、TYK210型            [URL] <a href="http://www.toto.co.jp/News/20060630/index.htm">http://www.toto.co.jp/News/20060630/index.htm</a></p>
2011/7/12	電気式浴室換気乾燥暖房機	マックス株式会社	<p>[製品名及び型式] 浴室換気・乾燥・暖房機 機種：BS-131SHY            ※再確認の対象となるのは、特定の外部委託業者が点検修理作業を行った製品本体の電源線と屋内配線の接続部です。            [URL] <a href="http://wis.max-ltd.co.jp/dry-fan/owabi_osirase_201107.html">http://wis.max-ltd.co.jp/dry-fan/owabi_osirase_201107.html</a></p>
2015/6/3	電気式浴室換気乾燥暖房機	マックス株式会社 (製造・販売) トステム株式会社(現株式会社LIXIL) (販売)	<p>[製品名及び型式]            ①ブランド：マックス株式会社 対象品番：BS-101            ②ブランド：トステム株式会社(現株式会社LIXIL)            対象品番：BS-58H, BS-58HCX            (システムバス「レフィノIV」に搭載 または、システムバス「LS」、「レフィノ」シリーズの修理交換用)            [URL]            マックス株式会社 <a href="http://wis.max-ltd.co.jp/dry-fan/oshirase_20150604.html">http://wis.max-ltd.co.jp/dry-fan/oshirase_20150604.html</a>            株式会社LIXIL <a href="http://www.lixil.co.jp/warnings/2015/002.htm">http://www.lixil.co.jp/warnings/2015/002.htm</a></p>